

柏木各・保・国・麦・阿・頼・穂)

12 27 01 衛門のかむのきみ 右衛門督きみ保衛門督

国頼 衛門督の君麦阿 右衛門のかむのきみ

穂

12 27 01 かくなをかく保頼穂

12 27 01 わたりナシ国

12 27 01 給こと 給て国

12 27 01 猶ナシ保国頼穂

12 27 01 をこたらて ナシ国

12 27 01 かへりぬ かはりぬ国

12 27 02 北の方きたのかたの保頼穂

12 27 02 さまを さま保国

12 27 02 みたてまつるに 見たてまつりに各

12 27 02 かけはなれなむ かけはなれなん頼

12 27 02 いのち いのちの保国頼穂

12 27 02 かひなく かひなう頼

12 27 03 ことを思ふ ことおほしなけるゝ国

12 27 03 又ナシ各国麦阿

12 27 03 世に よを保国頼穂

12 27 03 はなれかたく はなれかたう保穂

12 27 04 とゝめとゝめとゝめ穂

12 27 04 身かは 身か各 みかえ国 身には阿

12 27 04 ほとより思ふ心 ことにて ほとよりも国

12 27 04 なにことをも なにことにも保頼穂 なに事も

麦阿

12 27 05 人 人には各麦阿

12 27 05 ひときは ひときはゝ保国頼

12 27 05 おほやけわたくしのこと につれて おほやけ

わたくしにつけても身をたてむこと 国

12 27 05 ふれて ぶれつゝ保頼穂

12 27 06 心 事保頼穂 ころ 国

12 27 06 かなひかたかりけり と かなひかたかりけり

各 かなひかたかりと 阿

12 27 06 ふしこと ぶし保国頼穂

12 27 07 身を ナシ国

12 27 07 思ひおとして 思ひそめてし 国

12 27 07 こなた このかた各 こなたは 国

12 27 07 なへての なへて保穂

12 27 07 すさましう すさましく保頼 ならすさまあし

く 国 すさましう 麦

12 27 07 のちの世の 後世の 穂

12 27 08 をこなひに おこなひも 国

12 27 08 すゝみにしを すゝみにしかと保頼穂 すゝみ

しかと 国

12 27 08 御つらみを思て 御つらみおひて 国 御つらみ

を おもひて づらみノ上ニ おもひ づ書クカ

頼

12 27 08 の山 しての やま各

12 27 08 あくかれむ あくかれなん各麦阿

12 27 09 をもぎ ナシ各 をもぎを 阿

12 27 09 おほえしかは おもほえしかは保頼穂

国 すこしきつる 穂

12 27 10 猶世に かくよには 保 かく世に 頼穂

12 27 10 おほえぬ あらぬ 国

たるも 国

12 27 11 たれかは づらき心 づらき心から また たれかは 心か

らに 国 たれか づらき心 づらき心から 穂

12 27 11 もてそこなひつるにこそ もてそこなひつる

こそは 保 もてそこなひつる 国 もてそこなひ

つるにこそは 頼穂

12 27 12 あめれ ナシ各 国 あんめれ 頼

12 27 12 神仏 仏神保 国 頼

12 27 12 かこたむ方 かこつへきかたも 国

12 27 12 なきは なきに保頼穂 なし 国

12 27 12 さるへきに さるへきにも 麦阿

12 27 13 世は 身は各保頼穂 よに 国

12 27 13 つみに ナシ 国

12 27 13 あらぬを あらぬは 国

12 27 14 ひとにも 人に保頼穂

12 27 14 すこし ナシ 国

12 27 14 うちしのはれぬへき うちしのはれぬ各うち

しのはれぬへくて 国

12 27 14 ほとにて ほとにては保頼穂 ナシ 国

12 27 14 なのの なんの 国

12 27 14 あはれをも あはれを 保 あはれをも 頼

12 27 14 かけ給 かけたまは 保 国 頼穂 かけたまは

ん 頼

12 28 01 人 人の保頼穂

12 28 01 あらむをこそは あらんおりこそ 国

12 28 01 もえぬるしに せめ もえぬるしに せめ

しに せめ各 もゆるしは あらぬ 国

12 28 01 せめて ナシ 保 国 頼穂

12 28 02 名をも ならぬ 国

12 28 02 いてくるやうもあらむいてん国
 12 28 03 なめしそめし阿
 12 28 03 心御ころる保国頼穂御おほむ穂
 12 28 03 をいおき国
 12 28 03 給らんたまへらん各たまはむ保頼穂
 12 28 03 さりともしさりとん保
 12 28 03 ゆるいてむゆるしたまひてん保頼穂ゆるし
 てん国ゆるし給てん頼
 12 28 03 かしナシ麦阿
 12 28 04 いまはのいまその保
 12 28 04 とちめにはとちめは国とちめに穂
 12 28 04 みなみな頼
 12 28 04 きえぬへききこえぬへき国
 12 28 05 年ころとしころの国
 12 28 05 おりふしことにはをりふしことに各をり
 へには保頼穂おりへに国
 12 28 05 給にし給ふにし各給し国
 12 28 05 かのき家かの保きしかたの国頼穂
 12 28 05 あはれもあはれは国
 12 28 06 いてきなんなといてきなんと国おきなんな
 と阿
 12 28 06 つれへにつれへと阿
 12 28 06 思つゝくるもおもひつゝくるに各
 12 28 06 うちかへしナシ国
 12 28 06 あちきなしあちきなしや国
 12 28 06 ほともなくしなしつる身ならんとかきく
 らしほとももてなしつるみにかあらんと
 国

12 28 06 ほともなくほともなう穂
 12 28 07 しなしつるしなしつる各
 12 28 07 うきぬ許うきぬはかり也各なかれぬはかり
 国
 12 28 08 なかしそへつゝなきて保頼穂なきへて
 国
 12 28 08 人へ人への保人の国
 12 28 08 たちざり給へるたちざりたまへるぬる
 フ削ツテざりたま書ク頼
 12 28 08 ほとにほと国
 12 28 09 たてまつれたてまつり各みたてまつれ
 国
 12 28 09 かきりになりにてかきりにて各かきりにな
 りて保国穂
 12 28 09 ありさまはありさまをば保頼ありさまを
 穂
 12 28 09 をのつからナシ国
 12 28 10 はへらんを侍へらんものを国
 12 28 10 御みゝみゝ国おほんみゝ穂
 12 28 10 とゝめとめ麦
 12 28 10 給はぬもたまはぬ御けしきも保給はぬ御気
 色の国給はぬ御けしきは頼給はぬ御けしき
 も穂
 12 28 10 ことはりなれとことはりに侍れと保頼
 穂
 12 28 11 いとナシ保国頼穂
 12 28 11 侍かなと侍へるかなと国侍るなと
 阿
 12 28 11 きこゆるにナシ保国頼穂

12 28 11 いみしういみしく国頼
 12 28 11 こともこと国專とも穂
 12 28 13 のころむのこさん阿
 12 28 14 心のとめて心にこめて国
 12 28 14 まとはむまよはん各まどふへき保頼穂ま
 とふ国
 12 29 01 し侍らむしはんへらむ頼
 12 29 01 しうこしう保頼穂
 12 29 01 ことゝもをことを保頼穂ことゝも国
 12 29 01 いひをこせ給へりみつからもいひをくらせ
 給へは身つから国
 12 29 01 給へり給へる阿
 12 29 02 いふへきものすへき保頼穂
 12 29 02 なむとなむあると保国頼穂ならんと
 麦
 12 29 02 のたまへればのたまへりければ保頼いひお
 こせ給へれば国のたまへりければ頼給へ
 りければ穂
 12 29 02 このかの国
 12 29 03 よりさり阿
 12 29 03 たよりにたよりありて国
 12 29 03 なれたる人なればなれたれば国
 12 29 04 心に国
 12 29 04 うたてつたてとも国ナシ阿
 12 29 04 おほえ給へれおほえつれ保頼穂おもひけれ
 国
 12 29 04 いとナシ阿
 12 29 04 かなしうてかなしくて保頼あはれにて
 国

12 29 04 猶ナシ各国麦阿

12 29 04 御返 御かへり各 御返を国 御返し麦阿

12 29 05 まことにナシ麦阿

12 29 05 とちめときちめ保

12 29 05 侍れと侍と保 はへれと頼

12 29 05 あすかの あすかをしらぬ国

12 29 05 心地して心地国こころちしつ々麦阿

12 29 06 物心ほそければもの心ほそければ保頼物

心ほそけれと阿

12 29 06 思しらるわといとしらるわと国

12 29 06 こころと国 事も麦阿

12 29 06 思こりにしかはおほしこりにしかは国

12 29 07 いみしう いみしく国頼

12 29 07 かいたまはずき 給はず国

12 29 07 御心本上のつよく御こころつからの物ふか

く各 御心本上のものふかく保頼種ふかくふ

かう穂「御心つからのおもて国 御心の本上

のつよく麦阿

12 29 07 つしやかなるには つしやかにふかくおはず

るにしも国

12 29 08 あらねとあらねはと(各)

12 29 08 人の 人の保

12 29 08 まほさすかにまを保国頼穂

12 29 09 いとおそろしつわひしきわひしきにいとを

そろしき保頼穂 いとわひしきにおそろしき

国

12 29 09 されと御すよりなとまかなひて 御すりなと

よりまかなひてすりハすよりノ書キ損ナイ

12 29 09 せめナシ保国頼穂

12 29 10 しふの にかむの 保頼穂

12 29 10 かい給 かいたまへるを保頼穂 かきつけ給え

るを国

12 29 10 よぬのまきれにナシ国

12 29 10 おとををとは各麦阿をををはして保国

頼穂

12 29 11 かつらき山かつらき国

12 29 11 さうしとし国 しゃつし頼

12 29 12 みすほつと経なともすほつとぎやつと国 御

修法と経なとも頼

12 29 12 いとナシ阿

12 29 12 おとろのしつとをとろのしつと各保国

12 29 13 けんさけん者頼

12 29 13 などの なと各麦阿

12 29 13 よにも世に国

12 29 14 なともをなとを保国頼穂

12 29 14 きみたち きみたちなと保頼 きんたち国麦

阿

12 29 14 つかはしつとつかはして各

12 29 14 けにくの にくの国

12 30 01 とも ナシ保頼穂

12 30 01 なの ナシ国

12 30 01 いとおほくさまさま保頼 ナシ国さまの

に穂

12 30 01 まいる まいり麦阿

12 30 01 そはかとなくそはかとなく保頼そ

こはかとなく穂

頼穂かくかう穂「心ほそく心ほそけにく」

頼「ものをのみ心ほそく国

12 30 02 思て 思保穂 おもひ頼

12 30 02 時ノ 時ノは頼穂

12 30 02 なき給 なきたまふを各麦阿 ないたまふに保

頼穂

12 30 02 おむやうしおんみやうし各頼をん命し

保御みやうし国 御やうし穂

12 30 02 なともなどの保頼穂ともの国

12 30 02 おほくはナシ国

12 30 02 りやうりや保らつ国麦阿頼穂

12 30 02 のみなど国

12 30 03 申ければましければ国

12 30 03 さることまよとさまよと保頼穂しかなとん

「んヲ削ッテとヲ書ク」国

12 30 03 おほせとおほすに保国頼穂

12 30 03 ものけの 物のけ各ものけも国

12 30 03 いてくる いてくる各国麦阿

12 30 04 おもほしわつらひて おほしわつらひて保頼

穂 わひて国

12 30 04 かるくまのをもかくさまのに保国頼

穂

12 30 04 ひしりも ひしり保頼穂

12 30 05 まふしつへたましくて まふしつへたましく

保頼穂 おとろのしつ国 まふしつへたまし

つ穂

12 30 05 あらゝかにあらゝしけに国 あらゝかに

麦

12 30 05 たらによむをたらにもよむ国
 12 30 06 にくやきにくや保頼穂
 12 30 06 つみのつみ各つみか国
 12 30 06 身ナシ各保国頼穂
 12 30 06 こゑたかきはこゑたかきはにノ上カラカヲ
 書ク「各こゑのたかきは保頼穂こゑのたか
 ききは国こゑたかき麦阿
 12 30 06 いとナシ保国頼穂
 12 30 06 けおそろしくておそろしくて国けおそろし
 つて麦阿穂
 12 30 07 いよノいよノ保頼穂ナシ国
 12 30 07 しぬへくしぬへき心ち保頼穂うたれぬへく
 国
 12 30 07 おほゆれすれ保頼穂
 12 30 08 たまはず給はて国
 12 30 08 うちやすみたとうちやすみたまへると保
 国頼穂
 12 30 08 人ノして人ノも国
 12 30 08 申させ給へは申給へは各麦阿まつさせたま
 へれば保頼穂申せは国
 12 30 09 さおほしてしかおほして国
 12 30 09 のひやかにこのひしりとそのひしりとし
 のひやかに保頼穂このひしりと国
 12 30 09 給へれとたまへれば各国
 12 30 09 猶ナシ各麦阿
 12 30 09 はなやきたる所つきてはなやきて保頼
 穂
 12 30 10 おとノ人保頼穂
 12 30 10 かゝるかゝるかゝる保

12 30 10 物ともとの保頼穂
 12 30 10 むかひみてむかひて各むかひみたまふて保
 頼穂たまふてたまひて頼穂
 12 30 11 そめ給しそめたまし保そめにし阿
 12 30 11 ありさまありさまとも国有様麦
 12 30 11 なにともなくなにとなく国
 12 30 11 うちたゆみつうちたゆめて保国頼穂
 12 30 11 をもり給へることおもりたまひにたること
 など保頼穂ことなとことなと保おも
 り給へるを国
 12 30 11 まことこまかに保頼穂ナシ国
 12 30 12 物のけものけなと保御ものけ麦
 12 30 12 あらはるへうあらはるへく各保国麦阿頼
 穂
 12 30 12 こまやかにまめやかに保頼穂ナシ国
 12 30 12 かたらひ給もかたらひ給国頼
 12 30 12 いとあはれなりナシ国
 12 30 13 かれあれ各
 12 30 13 きくたまへききくたまへ保
 12 30 13 おほしよらぬにおもほししらぬに保頼穂お
 もほしおほし穂思しらぬに国
 12 30 13 うらなひよりけむつらなひよりつらむ保
 頼つらなひよりたりけん国つらなひつらむ
 穂
 12 30 13 女のりやう女のらう保国麦阿頼穂
 12 30 14 まことにま事国
 12 30 14 さるナシ各さるさる阿
 12 30 14 御しう御しふ保国頼穂
 12 30 14 そひたるならばそひたらは保頼穂

12 30 14 身をひきかへ身もひきかへし各保頼穂心も
 ひきかへし国
 12 30 01 こそナシ国
 12 30 01 なりぬへけれなりぬへきかな国
 12 30 02 人の御なをもたて身をもかへりみぬたくひさ
 るたくひも国
 12 30 02 御なをも御なを保頼穂御おほむ穂
 12 30 02 たてナシ麦阿
 12 30 02 むかしのむかしよりの保
 12 30 02 なくやはなきことには保頼穂なきたくひ
 や国
 12 30 02 ありけると思なおすありけんと思なす
 国
 12 30 03 わつらはしうわつらはしく各保頼穂わつら
 はしくて国
 12 30 03 とかとかめ麦阿
 12 30 04 事も事国
 12 30 05 ふかきいかに国
 12 30 05 なきになきてに各
 12 30 05 たてまつりし たてまつりし各たてまつり
 たりし国
 12 30 05 ゆふへのほとゆふくれ国
 12 30 06 まとひみたれ各まよとひ保ナシ国
 12 30 06 身にもナシ国
 12 30 06 かへらすかへりこす保国頼穂
 12 30 06 なりにしなりぬる保頼穂
 12 30 06 院のうちみん国
 12 30 07 あくかれありかはあくかれは各

12 31 07 たまへよ給へ国
12 31 07 からのやうなるさましてナシ国からのや
うなるさまして穂

12 31 08 はつかしうつゝましとはつかしうつゝまし
う各つゝましはつかしう保頼穂つゝまし
くつゝまし穂はつかしうはつかしく頼
つゝましはつかしう国

12 31 08 おほしたるさまをおほしなげき給へるさま
を保おほしめいたるさまのいみじきを国お
ほしなげきたるさまを頼穂

12 31 09 さてに国
12 31 09 給へらむ給えはむ国

12 31 09 御さまのさまの各御ありさまの保頼穂

〔御おほむ穂〕ナシ国

12 31 09 おもかけにおもかけの国

12 31 10 給へはたまふも保国穂たまふは頼

12 31 10 あくかるらむあくかるゝ保国頼穂あくか
るゝ頼

12 31 10 ゆきかよぶらむゆきかへる覽保かよひあり

くひた国

12 31 10 などナシ国

12 31 11 心地も心ちの保頼穂心のみ国心ちにも

麦

12 31 11 見たるれば見たれ国見たれなれば頼

穂

12 31 11 いまさらたいまはなびに国

12 31 11 御ことよ御事国

12 31 11 この世はこの世をは国

12 31 12 かうかく保頼穂ナシ国

12 31 12 はかなくてはかなうて穂

12 31 12 すきぬるやみぬる国

12 31 12 ほたしにもほたしに国

12 31 12 こそとこそと保

12 31 12 思なむ思ひ国

12 31 12 いとおしきいとゝをしき各保麦頼穂いと
ゝをしく国

御ことよ御事国

12 31 13 御ことを御こといかて保国頼穂

12 31 13 いかてナシ各保国頼穂いかてか麦阿

12 31 13 きゝをいぎゝおき国頼

12 31 13 心ひとつに心ひとつにのみ保国頼穂

12 31 14 思あはせておもひあはせてのみ穂

12 31 14 かたるかたるへき保頼穂

12 31 14 人も人の国

12 31 14 なきかなきかにノ上カラカヲ書ク力皆

12 31 14 いみしういと国いみしく頼

12 31 14 かなゝとかな国かなと穂

12 31 14 ヲトサあつめヲトサあつめて保国頼穂

12 32 01 思しみ思ひしめり国

12 32 01 給へるたまひたる保頼

12 32 01 かつはかつは保

12 32 01 うたておそろしううたてと保頼穂うたたく
国

す各

12 32 01 あはれはたえしのはすあはれはたへしのは
す各あはれはたえしのはて保国頼穂

いみしく頼

12 32 02 いみしうナシ国

12 32 02 なくナシ穂

12 32 02 めしてめし麦阿

12 32 02 御返御かへり各御ふみ保頼穂このふみ
国御返し麦阿

12 32 02 み給へはみ給へれば穂

12 32 02 猶ナシ保国頼穂

12 32 02 いとナシ保頼穂

12 32 02 はかなけにはかなけけしセケチアルカ
麦

12 32 03 かい給てかきたまひて保国頼穂かきたま
ひて保かきたまへりて頼

12 32 03 心くるしう心くるしく国

12 32 03 いかてかはいかてか国いかてかはてニミ
セケチアルカ麦

12 32 03 をしはかりをしはかり給入保

12 32 04 のこらむとのこさんと各麦阿のこらむとか
保のこさんとか国頼穂のこらむこえいん
と麦

12 32 04 あるはあるあるは穂

12 32 05 たちそひてたちそひて頼

12 32 05 思みたるゝおもひこかるゝ国

12 32 05 をくるへうやはナシ国をくるやうやは
阿おくるへくやは頼

12 32 06 とはかりあるをとあるを各国とはかりあ
るを頼

12 32 06 思ふおほす保頼穂思ひ国

12 32 06 このけふりはかりこのよにはけふりのみ
国

12 32 06 こそはこそ皆

12 32 07 このよのナシ国

12 32 07 おもひいて思いては国

12 32 07 ならめ ならめ国
 12 32 07 は かなくも は かなうも 保麦阿穂
 12 32 07 ありける 思ひける 国
 12 32 07 なきまさり給て なきまさりたまて 保 なきま
 さりて 国
 12 32 08 御返 御かへり 各
 12 32 08 かいたまふ かき給 国
 12 32 08 つゞきもなう つゞきもなく 各保国 麦阿頼
 穂
 12 32 09 やつにて 様にて 穂
 12 32 10 なりぬとも なりぬとん 保国
 12 32 10 あたりを あたりは 保
 12 32 10 ゆふへは 夕穂
 12 32 11 わきて ことに 国
 12 32 11 とかめきこえさせ とかめきこへは 保 とかめ
 きこゑ 国 頼穂 とかめきこえさせ 頼
 12 32 11 人めをも 人めも 各国 穂 人をも 麦阿
 12 32 12 おほしなりて おほして 国
 12 32 12 あはれをたにも あはれをたに 各保国 頼
 穂
 12 32 12 たえす つねに 国
 12 32 12 給へなと 給へと 国
 12 32 12 かきみたりて かきみたり 国
 12 32 12 心地の なを心ちの 国 心ち 麦阿
 12 32 13 くるしさまさりければ いとくるしうなりま
 さりければ 保 頼 くるしうくるしく 頼 くる
 かりければ 国 いとくるしうなりまされは
 穂
 12 32 13 いたうふけぬさきに いまはいたくふけぬと

て 国 いたくふけぬさきに 頼
 12 32 13 給て たまて 頼
 12 32 13 かくかうくと 国 かく 頼 かう 穂
 12 32 14 なんとも なむと 国 なんとも 麦阿穂 なむとも
 頼
 12 32 14 きこえきこえさせ 頼
 12 32 14 給へ 給へと 国
 12 32 14 いまさらに いまさらに 保 今さら 阿
 12 32 14 思あはせむを 思らんと 国 おもひあはせむを
 「もノ上カラをヲ書ク」 頼
 12 33 01 くちおしけれ くるしけれ 各麦阿 心くるしけ
 れ 保 頼 穂 くるしかりけれ 国
 12 33 01 むかしの むかしのよの 保 頼 穂
 12 33 01 ちきりにて ちきりに 国
 12 33 02 しみけむとしみけん 国 しみにけむと
 穂
 12 33 02 給ぬれば 給ぬ 国
 12 33 02 れいはむこに れいはんこに 各 れいはむこ
 恒『大成』補入シテ抹殺セリ「トアリ 麦
 12 33 02 むかへすへて むかへすして 各むかひすゑて
 保 麦 頼 穂
 12 33 03 いはせまほしう いはせまほしく 保 頼
 12 33 03 給をしたまふに 各麦阿
 12 33 03 ことすくなにてもと思ふか あはれなるにえも
 いてやらす 御ありさまを ことすくなにもとお
 もふにしも いてやられて 御ありさま 国

12 33 04 御ありさま 御有様 麦
 12 33 04 めのと も めのと 各 めのと 国
 12 33 04 いみしく いみしう 各保穂 ナシ 国
 12 33 04 おほしたる おほいたる 保 頼 穂
 12 33 05 きのふけふ 昨日は 国
 12 33 05 すこし ナシ 各 国
 12 33 05 よろしかりつるを なとかいと よろしくもの
 し 給しを なと 国
 12 33 05 よはけには よはけに 各
 12 33 06 とまり待ましきと まるましき 各麦阿 えとま
 り 侍る ましき 国
 12 33 06 なめりなり 麦阿
 12 33 06 きこえ給て きこへたまて 保 て 国
 12 33 07 ない給 なきたまふ 保 国 頼 穂
 12 33 07 くれつかた ひくれかた 保 穂 ゆふくれ 国 喜
 かつ 麦阿 旧くれつ かつ 頼
 12 33 07 なやましうし 給けるを なやみ給て 国 なやま
 しくしたまひけるを 頼 穂
 12 33 07 その御けしきとみたまつりしりたる人ノ
 さはきみちて その御けしきある 御心ちとみ
 たまへるしるひとノ さはきあひて 保 気色
 あるさまにみえさせ 給へは 国 その御けしき
 ある 御心地と見たてまつりしる人ノ さはき
 あひて 頼 穂 御心地 おほむ心ち 穂 見たてま
 つり 見たてまつり 頼
 12 33 08 もきこえたりければ おとろきて わたり 給へ
 り ナシ 阿
 12 33 08 きこえたりければ きこへたれば 保 国 頼
 穂

12 33 09 御心のうちは御こころのうちに各国麦うち
 に中に国〔御こころのうちは保頼穂心の
 うちに阿
 12 33 09 思まする 思ひまする 各またおもひよする保
 国穂 又おもひますはは八る下読ミガタイ
 頼
 12 33 09 方なくて かなうて穂
 12 33 09 みたてまつらましかは みたてまつらまほし
 かは保
 12 33 10 めつらしく めつらしく
 12 33 10 おほせと 思えと 国 おもほせと 頼穂
 12 33 10 人には ひとに 国
 12 33 10 けしきもさきて けしきもさして 保 気色みせ
 し 国
 12 33 10 おほせはおもほせは保穂
 12 33 10 けむさなごめし つねなくて 国
 12 33 11 みすほうは 御すほうは 各頼 みす法麦
 阿
 12 33 11 ひとつとなく ナシ 国 ひとつとなつ穂
 12 33 11 そつとも はんそつとも 各そつとん保
 12 33 11 なかに 中に 国 麦 阿 頼
 12 33 12 かぎり かぎりは 保 頼 穂 は 国
 12 33 12 みな ナシ 国
 12 33 12 まいりて まつのほらせて 保 頼 穂 まいりあつ
 まりて 国 まいり 麦 阿
 12 33 12 かちまいりさはく ナシ 国
 12 33 12 あかさせ あかし 保 国 頼 穂
 12 33 12 給ひて たまた 保
 12 33 12 日 ほの／＼と 心 国

12 33 13 うまれ むまれ 保 国 麦 阿 頼 穂
 12 33 13 たまひぬ 給えり 国
 12 33 13 おとこ 君 をと とき み なり けり 保 国 頼 穂
 12 33 13 かく かつ 国
 12 33 13 あやにくに ナシ 麦 阿
 12 33 14 いちしる ぎしる ぎ 国 いちしる し ぎ 阿
 頼
 12 33 14 かほつきにて かほつきなどにて 保 頼 穂 かほ
 つきの 国
 12 33 14 たまへらんこそ 給らむこそ 保 麦 阿 給えはん
 か 国
 12 33 14 くるしがる へけれ 心くるしがる へけれ 各ナ
 シ 国
 12 33 14 女こそ 女にて 麦 阿
 12 34 01 なにとなく まきれあまたの うちまきれ
 国
 12 34 01 人の 人 保 頼 穂
 12 34 01 みる物ならねは みめものなれば 国 みる物な
 らねはこそ 麦 阿
 12 34 01 やすけれとおほすに 又 心やすけれと 国
 12 34 01 かく かつ 国
 12 34 02 ましりたる ナシ 国
 12 34 02 方に かなにて 保 頼 穂 さまにて 国
 12 34 02 給も 給そ 国
 12 34 02 よしかし よき 国
 12 34 03 思しことの 思きこえもさせし 国
 12 34 03 この世にて このよに 国
 12 34 03 かく かつ 穂
 12 34 04 ことに ことにて 保 頼 穂 事 国

12 34 04 むかはりぬれば いてきぬれば 国
 12 34 04 のちのよ 後 世 穂
 12 34 04 つみも つみは 保 国 頼 穂 つみ 麦 阿
 12 34 04 かるみなん かるみぬらむ 保 頼 穂 かるむ
 国 かるみぬらん 頼 穂
 12 34 05 はたは 各の 国
 12 34 05 なれば かくにて 国
 12 34 06 思おもひ 各おもひて 保 国 頼 穂
 12 34 06 つかまつる つかまつる 国 麦
 12 34 06 御つふや おほむつふや 穂
 12 34 06 いかめしう いかめしく 国
 12 34 06 おとろ／＼し をとろ／＼し つ 各
 12 34 07 さま／＼ ナシ 国
 12 34 07 給 給える 国
 12 34 07 御つふやしなひ つふやしなひとん 保 頼 穂 と
 んとも 頼 穂 御つふやしなひの 国
 12 34 07 おしきつかさね ついかさねをし ぎ 保 国 頼
 穂
 12 34 08 ことさらに ことさらにの 国
 12 34 08 心／＼に こころ／＼ 各 麦 阿 心／＼の 保 頼
 穂
 12 34 08 いとましさ 御いとましさ 保 頼 穂 いといまめ
 かし 国
 12 34 08 みえつゝなむ みえきこゆ 国
 12 34 08 五日の夜 五日のよ 各 五日 夜 保 国 穂 五日の
 夜は 麦 阿
 12 34 09 中宮 宮 麦 阿
 12 34 09 御前の物 おまへの物 各 御まへの物 保 穂 御
 まへ 国 御まへの物とも 頼

12 34 09 女はうのねうはうなと国
 12 34 09 なかにもナシ保国頼穂中にも麦阿
 12 34 09 しなノに思あてたるしなノ思てたる
 国しなノにおもひあてたり穂
 12 34 10 いかめしういかめしく国頼穂
 12 34 10 御かゆて御かゆ各保麦阿頼穂御ふ国
 12 34 10 とんしきと屯(ん)しき各としきまで保頼
 穂としき国としきまで頼
 12 34 10 五十く五十くに麦阿
 12 34 11 きやうことと国
 12 34 11 院のしもへちやうの院の丁しもへとん保頼
 穂とんとも頼穂みんのへたうしもへとも
 国
 12 34 11 めしつきとところめしつきみつし所保めしつ
 き所の国めしつきみつし所の頼穂
 12 34 11 なにかのなかの国
 12 34 11 くまて事とんなと国くまして麦頼くま
 て穂
 12 34 11 いかめしくゆしう各いかめしう保麦阿頼
 穂
 12 34 12 給へりたまふ各
 12 34 12 宮つかさ大夫みやつかさの大夫国
 12 34 12 はしめてはしめ穂
 12 34 12 院殿上人院の殿上人各国麦阿院の殿上人も
 保頼穂院殿上人も穂
 12 34 12 七夜は七日夜は各七日の夜保頼穂七日
 のよは国
 12 34 13 それもこれも国
 12 34 13 ちしのおとくとちしの大殿なと保頼穂ナ

12 34 13 つかうまつり給へきにつかうまつりたまふ
 へきを保頼穂つかまつるへきを国
 12 34 14 なにこともよろつ国
 12 34 14 をほそつの大かたの各たおほそつ保頼
 穂たおほそつ(つ)の保たおほかたの
 国
 12 34 14 のみそはかりなん国
 12 34 14 宮たちみこたち保国頼穂み(こ)たちえ
 ニミエルノデコト傍記シタカ「保
 12 35 01 あまたまた阿
 12 35 01 まいり給まいりて各まいりたまへり保頼
 穂まいり給て国
 12 35 01 けしきもきしき保頼穂きしきは国
 12 35 01 かしつきこえ給へと人のもてかしつき
 こゆれと国
 12 35 02 御心のうちに御心の中に国
 12 35 02 心くるしくるし国
 12 35 02 いたうもいたくも保頼穂いたう麦阿
 12 35 03 きこえナシ保国頼穂
 12 35 03 御あそひあそひ各
 12 35 03 宮は宮保頼
 12 35 03 ひわつなる御さまにてあはかにおはするに
 国ひわつなるおほむさまにて穂
 12 35 04 むくつけうむくつけく頼
 12 35 04 ことのおそろしうことをそろしく保頼物
 国
 12 35 04 御ゆなともつゆ御ゆなとをたに保頼穂御ゆ
 をたに国

12 35 04 きこしめさすまいらす国
 12 35 05 ことをこと保頼穂ことさへ国
 12 35 05 かゝるにつけてもナシ国
 12 35 05 おほしいればさはれこのついてにもナシ
 各
 12 35 05 おほしいればおほしければ保頼穂おほしこ
 かるれば国おほしいれ麦阿
 12 35 05 このついてにもかゝるついでに国このついでに穂
 阿
 12 35 06 おほすおととはいとよう人めをかさりナシ
 12 35 06 おほすおほすを各
 12 35 06 ようよく保国頼穂
 12 35 06 かさりかさりたりと保頼穂つむしのふと
 国
 12 35 06 おほせとおほおほせと保
 12 35 06 むつかしけにむつかしう国
 12 35 07 なとを事を穂
 12 35 07 をとりわきてもみたてまつり給はすなとナ
 シ麦阿
 12 35 07 みたてまつり給はすみたてまつらす各
 12 35 07 などあればとあれば保などありければ
 穂
 12 35 07 おいしらへるをいしらへ侍る各をいしら
 したる国
 12 35 07 人なとはいてやおるそかにも人ノおるか
 にも国
 12 35 08 めつらしうめつらしく国頼
 12 35 08 御ありさまの御ありさま保御有様の

麦

- 12 35 09 までに まで保頼穂 までみゆるに国
- 12 35 09 おはします おはします物保頼穂 御有さま
- 国
- 12 35 09 うつくしみ うつくしく阿
- 12 35 09 きこゆれば きこへあへるを保頼穂 きこゆる
- を国
- 12 35 09 かたみんに かたみに保宮かたみに
- 阿
- 12 35 10 ことも事は国
- 12 35 10 まさびめとつびめしつ まなるへかめれとつ
- らめしくも保頼穂 つかうびめしくも つかうめしつ
- も穂 つかうめとつびめしく国
- 12 35 10 身御みも保頼穂 御身のうさも国
- 12 35 10 つらくて おほしくられて国
- 12 35 11 あまにも あまに各国麦阿
- 12 35 11 なりなはや なりなん国
- 12 35 11 御心 心阿
- 12 35 11 よる 夜頼
- 12 35 11 なと ナシ国
- 12 35 11 こなたには こなたに国
- 12 35 11 おほとこのもびす 御とのこもらす国頼
- 12 35 12 はかなき いとはかなき保国頼穂
- 12 35 12 みるまに 見きき侍るに国
- 12 35 12 みしかう みしかく保頼 すくなく国
- 12 35 12 物心ほそくて 物ころほそぶて各麦阿
- 12 35 13 なりにて 各なりきて 頼八字母支卜尔ノ
- 差ナシ 保頼 なりて穂
- 12 35 13 ほとどのらつかはしき心ちするによりえまい

りこぬをいかく ほとにはつねもまいらぬを

- 国
- 12 35 14 より ナシ麦阿
- 12 35 14 えまいりこぬを えまいりこぬは各
- 12 35 14 おほしなりになりなりにて国
- 12 36 01 御き丁のそは みき丁のそは 各木丁のもとに
- 国
- 12 36 01 さしのそき ナシ国
- 12 36 01 御くし 御くしも保頼穂 御おほん頼
- 12 36 01 もたけ給て ちもたけたまはて保頼穂 もち
- あけ給て国
- 12 36 01 なをなをいとむつかしく保国頼穂 むつかし
- くむつかしう穂
- 12 36 01 えいきたるましき えいきとまるましき各い
- くましき国
- 12 36 02 心ちなむし侍る 心地する国
- 12 36 02 つみも つみ国
- 12 36 02 をもかなり おもかなり各 ぶかくなるを保
- 頼穂 ぶかくなるものを国
- 12 36 02 それにや それにもや国
- 12 36 03 いき ナシ保国頼穂
- 12 36 03 とまるととまるとも頼穂
- 12 36 03 心み ナシ国 心みん麦 はみん阿
- 12 36 03 なくなるとも なくなるとも 保なくならはそ
- れを国
- 12 36 03 つみを つみ国 つみをも麦阿頼
- 12 36 03 こともや こともや 保国頼穂
- 12 36 03 なむ ナシ保
- 12 36 03 思はへると 思侍との給国

12 36 04 いとおとなひて をとなひて 各おとなしく

- 国
- 12 36 04 給を 給へは国
- 12 36 04 いたつたて いたつたて 各いと国
- 12 36 04 ゆくしきゆかしき麦
- 12 36 05 なたてか いかて国
- 12 36 05 さまてはさる事は国
- 12 36 05 おほす おほしやらん国 おほすそ麦阿
- 12 36 05 さのみこそ さのみこそは保国頼穂
- 12 36 05 おそろしかなれと おそろしかなれ国
- 12 36 06 わさこと国
- 12 36 06 こそこそは国穂
- 12 36 06 あらめ ナシ保国頼穂
- 12 36 06 御心のうちには 御心の中には国
- 12 36 06 さもおほしよりてのたまは ちさやうにてみ
- たてまつらむは さやうになしたてまつりて
- 国
- 12 36 06 おほしよりて おほしとりて保頼穂 おほしめ
- しとりて
- ノ上カラとりヲ書ク 頼
- 12 36 07 みつちも みつち国
- 12 36 08 ことにぶれて ナシ国
- 12 36 08 心をかれと ころをかれ各
- 12 36 08 たまはむか 給らんか国
- 12 36 08 心くるしう 心くるしく頼
- 12 36 08 我なからも 我なから保国穂
- 12 36 08 思なおすましう おもひなをすましく保
- 頼
- 12 36 09 ことこの保国頼穂 ナシ阿
- 12 36 09 をろかに ナシ国

12 36 09 こともあらむかいとことこのあらん国
 12 36 09 いと／＼おしついといとをししく頼
 12 36 10 などのなとに保頼穂
 12 36 10 きこしめさむきこしめされん各聞しめん
 麦
 12 36 10 こともこの保頼穂とこの国
 12 36 10 こそはこそ国
 12 36 10 ならめならめと保頼穂
 12 36 10 御なやみ御やま心国
 12 36 11 なたてまつりてましなとなしたてまつら
 ましと各なしきこえてましと保頼穂なと国
 麦
 12 36 11 おほしよれとおほせは国おほしよれはと
 穂
 12 36 11 あたらしうあたらしく保頼穂
 12 36 12 あはれにナシ国
 12 36 12 かはかりとをきかはかりとをき保かいとを
 国
 12 36 12 御くしのおひさき御くしのをいさき各御
 をひさき保頼穂
 12 36 12 しかそき国
 12 36 12 こともこの保頼穂この国
 12 36 12 心くるしければ御心くるしければ国
 12 36 13 つよく／＼国つら／＼阿
 12 36 13 おほしなれおもほしなれ保頼おほしつよれ
 国
 12 36 13 おほせしおほしまさ心国
 12 36 13 かきりといみしうかきりと保国頼穂いみし
 ついみしく頼

12 36 13 たひらなるたいらかなる各保国麦阿頼
 穂
 12 36 14 ためしちかければたくひあれは国
 12 36 14 たのみあるよになむたのもし保頼穂
 12 36 14 なとと保国頼穂
 12 36 14 きこえ給てきこえて国
 12 36 14 御ゆ御物麦阿
 12 37 01 いたういたく頼
 12 37 01 やせてやせ国やせ給て穂
 12 37 01 あさましうはかなけにてうちふしナシ
 国
 12 37 01 あさましうあさましく保頼
 12 37 01 御さまおほときさまのおほとかに保国頼
 穂
 12 37 02 あやまちあやまり各
 12 37 02 ありともありとん保
 12 37 02 心よはくナシ国
 12 37 02 御さまかな御ありさまかな保頼おほむあり
 さまを穂
 12 37 03 山のみかとは御かとは各山のみかと保頼
 穂院のみかとも国山のみかとは麦
 12 37 03 めつらしきかくつうくしき国
 12 37 03 なりに保頼穂
 12 37 04 あはれにゆかしうあはれにゆかしく保頼ゆ
 かしうあはれに国京にゆしう阿
 12 37 04 おもほすにおほすに保頼穂おほしめすに
 国
 12 37 04 のみあれはいかに物し給へきにかとナシ麦
 阿

12 37 05 給へきにかと給へきにかあらんと国給へき
 穂
 12 37 07 院の院の上の保国頼穂
 12 37 07 こひしくこひしう穂
 12 37 07 又もまたは保頼穂また国ナシ麦阿
 12 37 07 みたてまつらすなりぬるにやといたうえみ
 たてまつらすなりぬへきにやとて保頼穂え
 みたてまつるましきにやとて国
 12 37 08 ない給なきたまふ保国頼穂
 12 37 08 かくかう国
 12 37 08 つたへナシ国
 12 37 08 そうせさせそうさせ阿
 12 37 08 給ければければ保穂
 12 37 09 たえかたうたえかたく保頼穂
 12 37 09 かなしとおほしてかなしうおほされて
 国
 12 37 09 こと／＼はこと／＼国
 12 37 09 おほしめしなからおほしなから国
 12 37 10 よに夜に頼
 12 37 10 かくれてひかれて保すくれて阿
 12 37 10 いたさせいて国
 12 37 10 たまへり給へる阿
 12 37 10 かねてかさねて各
 12 37 10 さるナシ国
 12 37 10 御せうそに御せうそく各保麦阿
 12 37 10 かくナシ保頼穂
 12 37 11 おはしまいたればおはしましたれば保国頼
 穂
 12 37 11 きこえ申国

12 37 11 かへりみすましようかへりみすましく国麦
阿返りみるましく頼穂「ましくましよう穂」

12 37 12 思はへりしかと思給へしかと国

12 37 12 まとひさめかたきものまことにたえかたき

こと国

12 37 12 みちのよの保頼穂 みに国

12 37 12 やみになむ侍りければやみになんありける

保頼穂 なん侍へりける国 やみに侍ければ

麦

12 37 13 をこなひもねむすも保国頼穂「ねむすねむ

しゆ穂」をこなひをも麦阿

12 37 13 けたいしてけたいし国

12 37 13 みちの道保国頼穂 みに頼

12 37 13 たつりのこの国

12 37 13 まゝならてまゝなれらして各

12 37 14 わかれなはなかくわかれなは保頼穂「な

くなかつ穂」

12 37 14 このつらみもやこのつら事やなく国つら

みもや麦阿「このつらみも穂

12 37 14 かたみに身に穂

12 37 14 あちきなさにあいなく国

12 38 01 しらてかくすて国

12 38 01 ものし侍と物し侍りつるなと保国頼穂

12 38 01 ことにてもなまめかしようつかしきさまに

ちナシ保

12 38 01 ことにてもことにて各

12 38 01 なまめかしようつかしきさまになまめかし

く国なまめかしきさまに頼穂

12 38 02 やつれやつし国

12 38 02 給てたまて保

12 38 02 御ほうぶく御ほうぶく御ほうぶく保御ほうぶく

穂

12 38 02 御すかた御すかたき保御すかたの国

12 38 03 あらまほしうあらまほしく国頼穂

12 38 03 きよらきよらか国

12 38 03 まつナシ国

12 38 04 おとし給おとしたまふつ保頼穂たまふつ給

つ穂

12 38 04 わつらひ給ナシ各宮いみじつれしうおほ

いたりまつ御有さまと給国

12 38 04 御さまさま各宮おんさま穂

12 38 04 月ころナシ国

12 38 04 よはり給へるよはり給国

12 38 05 御ありさま御み保頼穂 御有様麦

12 38 05 はか／＼しうはか／＼しく保頼 あやしく

国

12 38 05 物なとも物なと各宮

12 38 05 まいらぬつもりにやかく物したまふにこそま

いることかたつ国

12 38 06 をましなれとも御ましなれと国御ましなれ

とも穂

12 38 06 御丁み丁各保国穂 御き丁麦阿

12 38 06 御しとねしとね麦阿

12 38 07 宮をもとかう宮もとかう各保宮もとかく

保とかう国宮をもとかく頼穂

12 38 07 ゆか御ゆか国

12 38 08 御木丁御丁麦阿

12 38 08 をしやらせをしやり各

12 38 08 よめかちそうよめの加持の僧各よひの僧保

麦阿よひかちの僧保かちそう国よめか

ちのそう穂

12 38 08 心ちすれと心地すれは国

12 38 09 けむつくはかりのけんつくへき国

12 38 09 あらねはあらぬを国

12 38 09 かたわらいたれとかたわらいたし保国頼

穂

12 38 10 おほえ給らむおほえたまはん各おほし給ら

ん穂

12 38 10 さまを事国

12 38 10 御め御めを各

12 38 10 をしのこはせたまふをしのこひ給各おしの

こひ給て国

12 38 11 ない給てなきたまふて保国頼穂たまふて給

て国頼穂

12 38 11 いくへつもいくへくも各保国頼

12 38 11 かくかう国

12 38 11 おはしまいたるわたらせ給たる保頼穂わた

りをはしまいたる国

12 38 12 なさせ給てよなしたまひてよ保頼穂

12 38 12 御ほいあらは御心さしものし給はる国

12 38 13 ほとにて程にそ麦阿

12 38 13 かへりてかへりては国

12 38 14 ありありて国

12 38 14 世の人に世人にも国

12 38 14 ありぬへきなどありぬへきことになんを

はかりぬへきなど各麦阿ありぬへきこと

になむはゝかりぬへきなと保頼穂あるをな
んはゝかりぬへきと国

12 38 14の給はせての給て国

12 38 14おとゝの君おとゝ国

12 39 01すゝみすみ麦

12 39 01のたまふを給ときこえ給に国給を穂

12 39 01かた時のほとかた時国

12 39 01にてもそのたすけあるへきさまにてにて

各

12 39 01あるへき有ぬへき阿

12 39 02さまにてさまに保国頼穂さま阿

12 39 02思たまふるおもふたまふる各おもひ侍保国

頼穂

12 39 02のたまへはの給国

12 39 02ひころもひころ国

12 39 02のたまへとナシ国

12 39 02さけなどのものゝけなどの各国しやけなと

の麦阿頼

12 39 03人のナシ国人の頼

12 39 03心ころを保頼穂

12 39 03たふるかしてたふらかして保麦たかはして

国たふらかし阿

12 39 03かたにてかたに各保麦阿頼穂事も国

12 39 03やつもやつ国

12 39 03はへなるを侍るを各国侍なるを保麦阿は

へるなるを頼穂

12 39 03きゝもいれきゝいれ国

12 39 04ときこえ給ナシ国

12 39 04おしへにてもおしへにてしも国

12 39 04まけぬまけね各

12 39 04あしかるへきことならばこそはゝからめく

ゆへきことにもめらす国

12 39 05よほりにたるよほりたる各麦阿かくよほり

にたる保頼穂かくよほりたる国

12 39 05物し給はむものし給らん国

12 39 06きゝすくさむはきゝすくさむは保穂

12 39 06くいたため国くぬの阿

12 39 06心くるしう心くるしく保頼

12 39 06の給のたふ保

12 39 06御心のうち御心のうちには各保頼穂御心の

うちに国麦阿

12 39 06かきりなうかきりなく各保国頼穂

12 39 06うしろやすく心やすく国

12 39 07ゆつりをきし御ことをゆつりをきしかと

国ゆつりおきしおほむことを頼

12 39 07うけとりかけとり阿

12 39 07たまひてさしも給はさりしも国

12 39 07わかナシ国阿

12 39 08御けしきを御けしきを頼

12 39 08ふれつゝふれて各

12 39 08としころとしころも保頼穂

12 39 08おほしつめけるつめける各麦阿おほしつめ

たる保頼穂御心にもおほしつめたる国

12 39 09こと事を保を国

12 39 09いろにいろには穂

12 39 09給へきにも給へきにし国

12 39 09あらねはあらぬは阿

12 39 09よの人の世人の国

12 39 09思いふらむ思らん国

12 39 10ところも所保頼穂事も国(ことと)ところ

頼

12 39 10くちおしうくちをしく保頼

12 39 10おほしわたるにかゝるおりにもてはなれなむ

もおほしわたるをりにそむきはなれ給なん

も国

12 39 10人わらへに人わらはに各人わらはれに

保人わらはへに国

12 39 11うしろみにはうしろみにはた保国頼穂

12 39 12たのまれぬへきたのまれたのまれぬへき

頼

12 39 12御をきて御心をきて保国頼穂

12 39 12あつけをきたてまつりしあつたてまつり

おきし保頼穂あつけおきたてまつる国あつ

けをき奉りし麦

12 39 12しるしにはしるし許保穂しるしはかりに

頼

12 39 12思なしておもひなくて各みなして国

12 39 13にくけにきに欺(く)けに保

12 39 13さまやつ国

12 39 13あらずともあらずとん保

12 39 13御そうふん御せうふむ保穂御せうふん

む保おほそう国御そうふ麦阿御そふん

頼

12 39 13ひろくひろく ヲ書キ始め、ソレヲミセケ

チニシテヒヲ書ク(頼)

12 39 13たまはりたまへるたてまつりたる国給は

りたまへる頼

12 39 14 たてまつらむ たてまつらんを国
 12 39 14 わかナシ国麦阿
 12 39 14 よに よたに保世にたに頼世にたに穂
 12 39 14 かたにても かたにて保穂きにても国 かた
 にても頼
 12 40 01 うしろめたからすきをきみをき国
 12 40 01 かのこの保国頼穂
 12 40 01 おとよもおとよ国
 12 40 01 さいふともさいふらむともか保さはいふ
 とも国ナシ麦阿
 12 40 01 いとおろかにはよもおもひはなち給はしよ
 もおろかにはしはてし国
 12 40 01 おろかにはをとろかには保
 12 40 01 よも よも穂
 12 40 02 心はえをもころはへも保頼穂
 12 40 02 みはてむと見えはてんと各みはてんも麦
 12 40 02 おもほしとりておもほしふなりて保おほ
 して国おもほしとりて頼
 12 40 03 うけ給はむをたにけちえんにせむかしとの給
 はすおとよの君うけ給はらんにもけちえん
 せんかしとおほしたつおとよ国
 12 40 04 おほすおもほす保穂
 12 40 04 かつた事国
 12 40 04 いかなるへきいかにあるへき保国頼穂ある
 へきあへき国
 12 40 04 かなしくかなしう国穂
 12 40 05 給はす給はて穂
 12 40 05 いらていらたまひて各保国頼穂

12 40 05 なとかなとかくのこり保頼穂かくかう穂
 なとかく国
 12 40 05 いくはくもいくはく麦
 12 40 06 かうはかくは保頼かういは阿
 12 40 06 おほしなりにけるなをしし心をしつめたま
 ひて御ゆまいりものなをもきこしめせお
 ほしなりけるなをもしし御心をしつめてゆ
 すこしまいりなとせよ国
 12 40 06 たまひてたまへ各たまひて削ッテ
 たヲ書ク保
 12 40 06 なとをもなとを保頼穂
 12 40 07 きこしめせききしめせ阿
 12 40 07 ことかた国
 12 40 07 なりともなれと保頼なれば穂
 12 40 07 御身かく御身保頼穂かく身国
 12 40 07 よはうてはよはくは保国頼穂
 12 40 07 をこなぬも御をこなひも保頼穂御おほむ
 穂
 12 40 08 給ておきて保国頼穂
 12 40 08 こそとこそはと麦阿
 12 40 08 きこえ給へときこえたまへとも各のたまへ
 と保国頼穂
 12 40 08 かしらふりてかしらをふりて保頼穂
 12 40 08 つらうつらく保国頼穂
 12 40 09 おほしたりおもほしたり保穂
 12 40 09 つれなくてつれなく保つれなうて穂
 12 40 09 うらめしとおほすつらしとおほしつらん
 国
 12 40 09 こともことん保

12 40 10 いとおしういとをしう各いとをしく保
 頼穂いみしう国
 12 40 10 あはれなりあはれになりて保頼穂
 12 40 10 とかくとかう国
 12 40 10 きこえかへさむきこえかへさひ各麦阿頼
 穂きこへかへさる保きこえかへし国
 12 40 10 おほしやすらふおほしやすらふ各おほ
 しわつらふ保頼穂
 12 40 10 よ夜保頼穂ナシ国麦阿
 12 40 10 あけかたになりぬあけかたにもなれば
 国
 12 40 11 かへりいらむにかへらん国
 12 40 11 候ナシ国
 12 40 12 なかに僧の中に保頼穂中に国麦阿
 12 40 12 やむことなうやむことなく保国頼穂
 12 40 12 御くしおほんくし頼
 12 40 13 きよらなるきみらなる頼
 12 40 13 そぎすてそぎおとして国
 12 40 13 かなしうかなしく頼
 12 40 13 ちおしければくちをしけなり保国頼
 穂
 12 40 14 おとよはおとよ国
 12 40 14 しのひあへしのひ国
 12 40 14 給はすたまはて保国頼穂
 12 40 14 ない給なき給保国頼穂
 12 40 14 はたナシ国
 12 41 01 やむことなうやむことなく保国頼穂

12 41 01 よりもよりは保頼穂には国
 12 41 01 おほしをとおほしをも保穂おほしに国おほしをも頼
 12 41 01 この世にはこの世にて各このよは国
 12 41 02 ないたてまつるもなししたてまつるも各麦阿なししたてまつりつるも保頼穂なししたてまつり給えるも国
 12 41 02 あかすあらず阿
 12 41 02 うちほたれうちしほれ各麦阿
 12 41 03 おなしうはをなくは保麦阿頼穂ナシ
 国
 12 41 03 ねむす念仏国頼穂
 12 41 03 きこえをききこえ国をき麦
 12 41 03 給てたまで保
 12 41 03 あけはてぬるにあけはてぬに各麦阿あけぬ
 れは国
 12 41 04 いそきていてさせいそきて各いそきてさせ保頼穂いそきかへらせ国
 12 41 04 たまひぬ給保国頼穂
 12 41 04 よはうよはく保国頼穂
 12 41 04 きえいるきえいりぬへき国
 12 41 04 はかノしうもはかノしうつゑをも保頼穂はかノしうみんをも国
 12 41 05 えみたてまつらすえ見たてまつり給はす保頼穂みたてまつり給はす国み奉らす麦阿えみたてまつりたまはす頼
 12 41 05 たまはす給はすなりぬるかちをしう
 国
 12 41 05 思たまへおもひたまへ各思たまふ保ナシ

12 41 06 心まとひに心まとひに保頼穂心まとひに国おもふたまへ頼穂
 12 41 06 かつかく保頼穂ナシ国
 12 41 06 おほえたるおほえたまふ各
 12 41 06 みゆきのみゆき穂
 12 41 06 かしこまりをもかしこまりも国
 12 41 06 え御らむせられぬ御らんせられぬ国え御覽せられ給穂
 12 41 07 侍りてて国
 12 41 07 なむとなど保頼穂
 12 41 08 世中の世中保頼穂
 12 41 08 あすかにあすかと国
 12 41 08 おほえ侍りしおほえはへし頼穂
 12 41 08 人も人国
 12 41 08 なくてなつて穂
 12 41 09 たよはむたよらん国
 12 41 09 さりかたうさりかたかく保国頼穂
 12 41 09 はへしかは侍りしかは各国麦阿しかは保頼穂
 国
 12 41 09 御ほいにはあらさりけめと御ほいにもあら
 さらめと国
 12 41 10 かくナシ保国頼穂
 12 41 10 きこえつけてきこえつけ保きこえあつけて
 国
 12 41 10 としころはとしころ国
 12 41 10 心やすくつしるやすく国
 12 41 10 思たまへつるをおもふたまへつるを各おもひたまへ侍つるを保穂おもひたまへおもふ

12 41 10 もしももし保国頼穂
 12 41 11 侍らはたまへらは保頼穂給はる国
 12 41 11 さまことにさこそことに国
 12 41 11 さるへきナシ麦阿
 12 41 11 山さとなとにやまさとに国
 12 41 12 ありさまもすまひなん国有様も麦
 12 41 12 又ナシ保国頼穂
 12 41 12 心ほそかるへくや心ほそかるへきを保国頼穂
 12 41 13 おほしはなつましくおほしはなつまふ各
 穂
 12 41 13 なんとなむと保頼穂なんと国麦阿
 12 41 13 給へは給保国頼穂
 12 41 13 おほせらるるおほせらるるを保頼穂
 12 41 13 なむナシ国
 12 41 14 かへりてかへりては国
 12 41 14 はつかしうはつかしく国頼穂
 12 41 14 思たまへらるるおもふたまへらるる各保頼穂思給ふる国
 12 41 14 みたり心ちみたれこち各みたり心に保
 12 41 14 とかくかく保
 12 42 01 えわきまへはへらすえわきまへられ侍らす
 保国頼穂
 12 42 01 おほしたりおほいたり国おほしたる
 麦
 12 42 01 御物のけいてきてナシ国

12 42 01 御物のけものゝ保頼穂
 12 42 02 かうそかくそ保頼穂
 12 42 02 あるよあるき保あるや国
 12 42 02 かしこうかしこく保国頼穂
 12 42 02 ひとりをはおほしたりしかいとねたかりしか
 はひとりをしもおほいたりしをいとねたかりつるを国
 12 42 02 ひとりをは一人を穂
 12 42 03 このわたりこく保国頼穂このはたり
 麦
 12 42 03 さりけなくてさびけなくて保さりけなう
 て麦阿穂
 12 42 03 日ころナシ国
 12 42 04 かへりなむまかりなむ保国頼穂
 12 42 04 いとナシ国
 12 42 04 あさましうあさましく国頼
 12 42 04 さはナシ各
 12 42 04 こくにもこのわたり保頼穂このわたりも
 国
 12 42 05 あらむナシ保国頼穂
 12 42 05 いとおしういとをしく各保頼
 12 42 05 くやしうふくやしく保国頼
 12 42 05 宮すこし宮もいさか保頼穂
 12 42 05 いきいていきいてさせ保
 12 42 06 やつなれとやつな(なれと各
 12 42 06 人ノも人ノ保頼穂
 12 42 06 いとナシ保国頼穂
 12 42 06 いふかひなういふかひなく各保国頼ゆふか
 ひなく保

12 42 07 かうてもかくても保国頼穂かうても
 阿
 12 42 07 たひらかにたいらかに頼
 12 42 07 たにナシ国
 12 42 07 おはしまさはナシ麦阿
 12 42 07 ねむしつねんしあえり国
 12 42 07 みすほう御す法麦阿頼穂
 12 42 07 のへてのへ保頼穂のへつ頼
 12 42 08 たゆみなくをこなはせなとよろつにナシ
 国
 12 42 08 たゆみなくたゆみなつ穂
 12 42 08 をこなはせなとをこなはせ保頼穂
 12 42 08 よろつによろつの事を保よろつのこと頼
 穂
 12 42 08 ゑもんのかみかんの君保国頼穂かんの着
 保衛門督麦阿
 12 42 09 御ことを御こと(きを)頼
 12 42 09 いとくきえいるきえいりぬる国
 12 42 09 むけにナシ国
 12 42 09 すくなうすくなく各保国頼
 12 42 10 あはれに哀阿
 12 42 10 わたりはたり麦
 12 42 11 かるノしきかるノしき各保国頼かゝるか
 るしき阿
 12 42 11 やうにもやうに各麦阿
 12 42 11 あらむをナシ麦阿
 12 42 11 うへもう多保国麦阿頼穂
 12 42 11 おとともおととも
 12 42 11 かくかう国

12 42 11 つとそひおはすれはつとひおはすれは
 各
 12 42 12 とりはつしてとりはつしても国
 12 42 12 みたてまつりみたてまつらせ各麦奉らせ阿
 12 42 12 あらむにあらむ保頼穂あらは国あらむと
 麦阿
 12 42 12 あちきなしあいなし保頼穂
 12 42 12 かのかく保あめの国
 12 42 13 まうてむと申てむと保まてんと麦阿
 12 42 13 のたまふ思ひ給保国おもひのたまふ頼
 穂
 12 42 13 きこえナシ保国頼穂
 12 42 14 御ことを御こと国
 12 42 14 はみやす所はかのはわみやすむ所保頼穂
 はわみやすむ所は宮すところ頼穂かのは
 宮す所の国
 12 42 14 心ゆき心ゆるしきこえ保頼穂ゆるし
 国
 12 43 01 おとのおと国
 12 43 01 むたちいりたち各ゑたち保頼穂もちゑ
 国
 12 43 01 きこえ給てきこえよりたまひ保頼きこえ給
 ひ国きこえより給穂
 御心国
 12 43 01 心さし御こころさしの保頼穂こなたさまの
 12 43 02 まけ給てまけて保国頼穂
 12 43 02 いかはいか阿

12 43 02 せむとせむに保国頼穂
 12 43 02 おほしゆるしけるをおほしゆるしけるに
 各おほしゆるしたるを保国頼穂
 12 43 02 二品宮二品の宮各頼穂
 12 43 02 御こと御ことを国
 12 43 02 おもほしみたれけるおほしみたれける保頼
 穂おほしみたれたる国麦阿おほしをもほ
 し麦阿
 12 43 03 中ノ中ノに麦阿
 12 43 03 ゆくさきゆくす系保頼穂 ゆきさき阿
 12 43 03 うしろみ御うしろみ保頼穂
 12 43 04 給へり 給える国
 12 43 04 のたまはすのたまふ各のたまはする
 頼
 12 43 04 きゝ給しをきき給しを保
 12 43 04 かたしけなうかたしけなく各保国頼穂
 12 43 04 思いつナシ保おほしいつ国
 12 43 04 かくてみすてナシ保かくすくひ国
 12 43 05 たてまつりぬるたてまつりつへき保国頼
 穂
 12 43 05 さまノにこまノに保
 12 43 05 いとおしけれといとをししく保国頼穂
 12 43 06 なれはなれと国頼
 12 43 06 たへぬちきりたえぬるちきりを保国頼
 穂
 12 43 06 うらめつてうらめしく各麦穂うらめし
 と保頼うらめしう麦
 12 43 06 おほしなけかむかおほしなけかむか保頼
 「なけかむかなけかむかの頼」おほし

12 43 06 心くるしきこと心くるしき保いと心くるし
 う国
 12 43 07 御心さし御心よせ保頼穂
 12 43 07 物せさせものをさせ国ものをさせ穂
 12 43 07 たまへと給と保
 12 43 07 はつへにもそつゑにも国
 12 43 07 いてて麦ナシ阿 いて頼
 12 43 07 あなあれ保
 12 43 07 ゆゝしゆゝしや保頼穂
 12 43 08 たてまつりてはたてまつりなは保頼穂 たて
 まつりて国
 12 43 08 よにナシ国
 12 43 08 かうまでかくまで保国頼穂
 12 43 08 ことをはことは保国頼穂
 12 43 09 のたまふとてのたふと保の給とてか麦の
 たまふと頼穂のたまふとて頼
 12 43 09 なきたまへはなきたまふへは頼
 12 43 09 えきこえやりはきこえやり保えきこえやり
 給へはえきこえやり頼
 12 43 09 たまはずたまはて保国頼穂
 12 43 09 右大弁の君にそ左大弁のきみにそ保頼穂 右
 大弁の君に国 右大弁君にそ麦阿
 12 43 10 ことゝもは事は国
 12 43 10 くはしうくはしく各保麦阿頼 ナシ国
 12 43 10 きこえきこえつけ各保国頼穂
 12 43 10 心はへのこころはへ各麦阿心のいと保国頼
 穂

12 43 10 やノせかによくよくのとかに保国頼穂
 12 43 11 おとうとのおとゝの国
 12 43 11 又ナシ国頼 又頼
 12 43 11 すゑノのすゑノ保穂すゑすゑのかた
 国すゑノまた頼
 12 43 11 わかきはわかき保穂わかきは頼
 12 43 11 たのみたのみたのみ保
 12 43 11 きこえ 申保国頼穂
 12 43 12 かうかく保頼穂
 12 43 12 心ほそつこころほそく保国頼穂
 12 43 12 なけくなくを保頼穂なへて国
 12 43 12 おほやけもおほやけにも保国頼穂 おほや
 けにも頼
 12 43 13 ちおしからせ給くちをしからせ給ふに各
 保頼くちをしかり給に穂
 12 43 14 なさせなし各なり保国頼穂
 12 43 14 給へりたまひぬ保国頼穂
 12 43 14 ひとたひもひとたひ国頼
 12 43 14 やうもややうや国
 12 43 14 あるナシ保頼穂
 12 44 01 けれとけれは阿
 12 44 01 えためらひみためらひ穂
 12 44 01 やりナシ保国頼穂
 12 44 01 たまはてくるしきなかにもかしこまり申ナ
 シ穂
 12 44 01 なかにも心ちにも保頼 中にも国麦阿
 12 44 02 申ナシ国
 12 44 02 おとゝもかくをもき御をほえをみたまふナ
 シ麦阿

12 44 02 かくかう国
 12 44 02 をもきナシ保
 12 44 02 御をほえをみたまふにつけてもおほえにつけて国
 12 44 02 かなしうかなしく保国頼穂
 12 44 03 あたらしとナシ各あたらしう国
 12 44 03 おほしまとふおほしなけく国
 12 44 03 大将の君 大将君国麦阿
 12 44 03 いとナシ保頼穂
 12 44 03 ふかうふかく保国頼 かく穂
 12 44 03 思なけきナシ国
 12 44 03 とふらひきこえナシ各
 12 44 04 御よろこひにも 御よろこひによりも保頼穂
 12 44 04 まつてたまへり まで給へり麦
 12 44 04 みかとは 御門は各 御かとは保国麦阿頼穂
 穂 みかとは 国麦阿 御かとは 頼穂
 12 44 05 たちこみたちこみて保国麦阿頼穂
 12 44 05 さわかしうさはかしく保頼穂
 12 44 05 さはきみちさはき国
 12 44 05 をきあかるをきあかりたまふ各おきあかる
 阿
 12 44 06 なからはなからは頼穂
 12 44 06 たいめたいめん各保頼穂 たいめ国
 12 44 07 たまはて給はしと国
 12 44 07 思にくちおしければ 思つゝ国
 12 44 07 こなたにこなたにも各
 12 44 07 たまへ 給へと麦阿
 12 44 08 らつかはしきうつかはしへ(き)各

12 44 08 おほしナシ各
 12 44 08 ゆるされなむゆるしてむ保国頼穂
 12 44 09 ふしたまへるまくらかみ ふし給えりまくらのかみ国
 12 44 09 などとは保国穂
 12 44 09 給てて国
 12 44 10 はやうよりはやくより保頼穂
 12 44 10 ことなう事なく各保麦阿頼穂 ぶしなく国
 12 44 10 むつひかはし給むつひかはし給へる保頼穂
 穂 きこえかはしむつひ給える国
 12 44 10 わかれむことの わかれなむこのいと保頼穂
 穂 わかれは国
 12 44 11 かなしうかなしく各頼 かなしう保
 12 44 11 なけきなけきを各穂
 12 44 11 おやはらからの御思にもをやはらからに国
 12 44 11 をとらすおとらす思ひほれたまへり保頼穂
 頼穂 おとらすおとすもおほしほれ給えり国
 12 44 11 よろこひとてよろこひとふ ノ上カラと書クカ阿
 12 44 12 心ちよけこよなけ国 心ちよけに麦阿 心地よ(け)頼穂
 12 44 12 ならましをならまし国 ならましを頼穂
 12 44 12 おもふにおもふも保国頼穂 思も頼穂
 12 44 12 いとナシ麦阿
 12 44 12 くちおしうくちをしく保頼穂

12 44 12 かひなしかなし国 かひなし頼穂
 12 44 12 などとか保頼穂
 12 44 12 かくかう国
 12 44 12 たのもしけなくはたのもしけなく保 かひなくは国
 12 44 13 給にけるたまひにけへる頼穂
 12 44 13 御よろこひよろこひ国
 12 44 13 いさゝか いさゝかも保頼穂
 12 44 13 すくよかにもやとすくよかにやと国
 12 44 14 つまつまを各保麦阿頼穂 かたひらを国
 12 44 14 たまへは給れば保
 12 44 14 くちおしうくちをしく保穂
 12 45 01 なりにてなり給各なりて穂
 12 45 01 えほうしゑほし各穂
 12 45 01 はかりはかりを頼穂
 12 45 01 おしいれてをしいれたまひて各ひきいれて国
 12 45 01 すこしナシ保国頼穂
 12 45 02 くるしけくちをしけ各
 12 45 02 とものとの保
 12 45 02 なつかしうなつかしく各保頼 なつかしきを国
 12 45 02 なよかなるをなよかなる保頼 ナシ国 なよかなるを麦阿 なよかなるともをき頼 なよしなる穂
 12 45 03 ひきかけてひきかけ国麦阿
 12 45 03 ふしたまへり ぶし給へる保頼穂 ナシ国麦阿

12 45 03 おましのあたり ナシ麦阿
 12 45 03 物きよけにいとものきよけに国
 12 45 03 かうはしう かうはしく保国頼穂
 12 45 04 心にくそこころにく各心にくけに
 国
 12 45 04 すみなしすみならし国
 12 45 04 たまへるたまへり各
 12 45 04 みゆみゆる各
 12 45 05 をのつから ナシ国をのつから麦
 12 45 05 けはひも けはひ国麦阿 けはいも
 頼
 12 45 06 やせさらほひたる やせさうじほひたる各 い
 よいよやせさらほひたる保国頼穂
 12 45 06 しも しもそ保頼穂
 12 45 06 いよゝ ナシ保国頼穂
 12 45 06 しろうしろうく保麦阿頼穂
 12 45 06 あてなるあてはかなる各麦阿 あてにきよけ
 なる保頼穂 ものきよけなる国 あてにものき
 よけなる頼
 12 45 07 ものなときこえ給けはひいとよはけにいきも
 たえつゝあはれけなりふし給えり国
 12 45 07 ものなと物なとに保
 12 45 07 たえつゝたへゝ各
 12 45 07 あはれけなり哀也麦阿
 12 45 07 ひさしう ひさしく各頼
 12 45 08 ことに ナシ各保頼穂
 12 45 08 いたうも ナシ保頼穂 いたくも国
 12 45 09 よりもよりは各保国頼穂
 12 45 09 みえ給 ナシ国

12 45 09 とのたまふ との給頼
 12 45 09 なみたをしのこひてなみたをしのこひつゝ
 保頼穂 なみたをしのこひつゝ保
 12 45 10 へたてなくへたてなつ各へたてもなく保国
 頼穂なくなつ穂へたてなく阿
 12 45 10 とこそとこそと穂
 12 45 10 ちきりきこえしかはきこへしか国
 12 45 10 いみしうもいみしう保いみしくも頼
 12 45 11 このナシ国
 12 45 11 御心ちおほむ心地国
 12 45 11 さまをさまも国
 12 45 11 なにこにてなにとにても各
 12 45 11 えきゝわき侍らすきゝわき侍らす各国麦阿
 「きゝわききゝはき国」
 12 45 11 かくかう国
 12 45 12 なから ナシ穂
 12 45 12 のみ ナシ各国
 12 45 12 なとなむと保国頼穂
 12 45 12 の給にのたふに保の給にものいはんとお
 ほしたれといとよはけにいきもえつき給はず
 国きこえたまふに頼
 12 45 12 をもくなる思なる国
 12 45 12 けちめもけちめ阿ちゝめも穂
 12 45 12 侍らすはんへらす頼
 12 45 13 こそ所そこ心国そこころ穂
 12 45 13 ことも各所も保国頼穂
 12 45 13 なければ侍らねは保頼穂
 12 45 13 かうも かうしも各保国頼穂 かくしも保頼
 穂

12 45 13 思たまへさりしおもふ給はさりし各思侍ら
 さりし国おもふたまへさりし頼おもふたま
 へらさりし穂
 12 45 13 ほと ナシ各
 12 45 14 月日も月日保頼穂
 12 45 14 へてへたて保頼穂へたて国麦阿
 12 45 14 侍 ナシ保国頼穂
 12 45 14 うつし心きも心国
 12 45 14 うせたるやうにうせにたるやうにて保国穂
 「やうにて様にて穂」うせにたるやうに頼
 12 46 01 さまゝにさまゝ国
 12 46 01 ひきとめひきとめ各国
 12 46 01 のりくわんなとの願などの保頼穂くわん
 の国
 12 46 01 ちからにやちからなとに国
 12 46 01 かつらぶも かつらぶこと国 かくつらう
 も穂
 12 46 02 中ノ中ノに国中ノ頼
 12 46 02 くるしういとくるしう保国頼穂くるしうく
 るしく頼
 12 46 02 いそきたついそきいてたつ国
 12 46 02 しはへるして侍阿
 12 46 03 わかれわかれは国
 12 46 03 ことはいとこと国こといと頼
 12 46 03 おほつさまゝに保国頼穂
 12 46 03 さしてさし穂
 12 46 04 御心心各こゝろ 八空白、御ヲ削ルカ

保

12 46 04 ともをともを国
 12 46 04 かへりみる たつる国
 12 46 05 かたはたかたは国かたはし穂
 12 46 05 とつめとめ国
 12 46 05 なけきをはなけきをは国なけきは麦阿
 頼
 12 46 06 又ナシ保国頼穂
 12 46 06 心のうちに 心の中に国
 12 46 06 思給へみたるゝおもひたまへみたるゝ各思
 みたるる国おもふたまへみたるゝ頼穂
 12 46 06 侍をしけく侍るを国
 12 46 06 いまはの いまはの各
 12 46 06 きさみにて ぎさまみには保きさみに国き
 さみに頼穂
 12 46 07 なにかはなにか 「ハモヲはニ直ス力」
 国
 12 46 07 もらすへきと思はへれともらすへき思給ふ
 れと保もらすへきとおもふ給れと頼ハへき
 とおもふ給ノ上カラ ヲ書クガ読メ
 又頼穂おもふ給れと思たまふれと穂
 12 46 07 ことを ことは国 ことは(頼)
 12 46 07 たれにかは たれにか国 たれにかは頼
 12 46 08 これかればあまたものすれとナシ麦阿
 12 46 08 あまたナシ国
 12 46 08 ものすれと物すれとも各
 12 46 08 はへらむもあいなしかし侍らす国
 12 46 09 六てつこの院に 六条院に各保国 六条院麦
 阿
 12 46 09 いさゝかいさゝか頼いさゝ穂

12 46 09 こともの国
 12 46 09 たかひめ たまか(ひめ頼
 12 46 09 心のうちに 心の中に保
 12 46 10 かしこまり申す かしこまる国
 12 46 10 ことなむ ことの頼
 12 46 10 ほいなう ほいなく保国頼穂 ほに(い)なく
 保
 12 46 10 心ほそつ 心ほそく保国頼穂
 12 46 10 思なりて 思ひなり国 思なりにて阿
 12 46 11 おほえはへしに おほえ侍りしに各麦阿 おも
 ひ侍しを保国頼穂
 12 46 11 かくその まへの国 楽所の麦阿頼穂
 12 46 11 心みのひ ころをひ国
 12 46 12 御けしき 気色国
 12 46 12 たまはりしに 給しに各麦阿 給しに
 国
 12 46 12 ゆるされぬ御心はへあるさまに ゆるされな
 いやうになん国
 12 46 12 御心はへ おほむ心はへ穂
 12 46 12 さまやう保頼穂
 12 46 12 御ましり おほむましり国
 12 46 13 はへりて 給て各侍しに保国頼穂
 12 46 13 いとゝいと国
 12 46 13 よになからへむ よになかへらん各
 12 46 13 ことも ことん保
 12 46 13 おほつ おほく保頼穂 ナシ国
 12 46 13 おほえなり侍りてあちぎなつ思たまへしにあ
 いなく思たまへなりし保頼穂 あいなく あい
 なつ穂(思たまへ おもふ給へ頼穂)

12 46 13 おほえなり侍りて おほえ国
 12 46 14 あちぎなう あちぎなく国
 12 46 14 思たまへしに おもふたまへしに各侍し国
 12 46 14 さはきそめて さはきそめて侍て保頼穂 さはき
 そめ侍へて国 さか(は)きそめて麦
 12 47 01 人かすには 人かすにも各麦阿
 12 47 01 いはけなう いはけなく保国頼
 12 47 01 はへし時より 侍りし時より各保麦阿頼穂侍
 しほとより国
 12 47 01 ふかく ナシ国
 12 47 01 申すきこゆる国
 12 47 01 心の 心保頼穂
 12 47 02 侍しを ふかく侍しに国
 12 47 02 さつけん さんけ国 さんけむ頼穂 さんけむ
 頼
 12 47 02 なと ナシ国
 12 47 02 ありけるにかと ありけるにか保侍けるにか
 と国
 12 47 02 うれへにてのこりうれへにとつめ国
 12 47 03 侍へければ 侍ければ各侍る保頼侍へれば
 国侍は穂
 12 47 03 るなう またなう各穂 なく保頼 る又なく
 保るんなう国 るんなく頼 またなく穂
 12 47 03 かの ナシ保頼穂
 12 47 03 一のよなにかし国 後世穂
 12 47 03 さまたけにもやとさまたけにもと国
 12 47 03 思給ふるを 思給ふる各思ひ侍る保国頼
 穂

12 47 04 とゝめてとゝめ給て保穂とめ給て頼
 12 47 04 よろしうよろしく国頼
 12 47 04 申させ申保頼穂
 12 47 04 うしろにもうしろみにも各麦
 12 47 05 かうしかんし保頼穂かんしの国
 12 47 05 ゆるされたらむゆるされたらむのみ保頼穂
 (のみよのみ頼穂)
 12 47 05 御とくに御とくには保国穂御おほむ国御
 とくちに阿
 12 47 05 の給まゝにのたまふに各
 12 47 06 のみナシ各よのみ保
 12 47 06 ヲミミえなり国
 12 47 06 いみしうていみしくて保
 12 47 06 心のうちに心の中に国
 12 47 06 ことゝも事共の麦阿
 12 47 06 あれとあれとも各
 12 47 07 たしかにはたしかに各たしかなる事は保国
 頼穂
 12 47 07 えしもおしはからずえをしはかりやらす保
 国頼穂
 12 47 07 おにゝかはをにゝか各保国
 12 47 08 かくかう国
 12 47 08 たまへるよしをも給御心ちに国
 12 47 08 なけきたまふなけい給国
 12 47 08 ことゝかかニミセケチ力保よし国
 12 47 08 かきりなうかきりなく保国頼穂
 12 47 09 こそ心うく国
 12 47 09 給ナシ麦
 12 47 09 かくか保頼穂

12 47 09 おほすおもふ国
 12 47 09 あるにてはあるなと国あるには麦阿
 12 47 09 いまゝてナシ国
 12 47 10 のこいへたてのこひ各保国頼穂へたてのこ
 し保国頼穂
 12 47 10 たまひつらむたまひけむ保国頼穂
 12 47 10 ものをいまはことを保国頼穂
 12 47 11 とりかへさまほしうとりかへさまほしく各
 保頼
 12 47 11 かなしくナシ国かなしう麦阿穂
 12 47 11 おほざるおほゆ保頼穂
 12 47 11 けにナシ保国頼穂
 12 47 12 おりをりに各保麦阿
 12 47 12 きこえよきこえ保
 12 47 12 つけ給はるつけ給穂
 12 47 12 へうこそはへりけれへくこそ侍りけれ保頼
 穂へかりけるものを国
 阿
 12 47 12 されとさりとん保頼穂とんとも頼穂と
 12 47 12 いとナシ保国頼穂
 12 47 12 かうナシ保国頼穂
 12 47 12 けふあすとしもやはとけふあすともやはと
 各今日あすにしもやはと保けふあすにしも
 やと国頼穂
 12 47 13 身つからながらみつから各保国頼穂
 12 47 13 思ひのとめしり国
 12 47 13 はへりけるも侍らさりけるも国
 12 47 14 御心より御心よりほかに保麦阿頼穂へほか
 にほかに頼穂

12 47 14 もらしもらい保頼穂
 12 47 14 給ましたまふましく頼
 12 47 14 さるへきついで侍らむさるへきついで侍
 らむに保頼穂人のさんけなと侍らん国
 12 47 14 おりにはをりは各麦阿ナシ保頼穂御いら
 へに国
 12 47 14 御ようめようめ国おほむようい穂
 12 48 01 たまへとて給へしと国
 12 48 01 宮人国
 12 48 01 とぶらひきこえとぶらひ保頼穂とぶらはせ
 国とぶらひものし頼
 12 48 02 さまありさま保国頼穂様麦
 12 48 02 たまはむを給はん国
 12 48 03 の給いはまほしきことはおほかるへけれとき
 こえ給に国
 12 48 03 いはまほしき いはまほしき各
 12 48 03 せむかたなくせんかたなきに各せんかたな
 ければ国せむかた穂
 12 48 03 なりにければナシ各国
 12 48 04 たまひねたまへ各たまへ(ひ)ね頼
 12 48 04 とてかきこえたまふかちまいるそうともち
 かうまいりうへおとゝなとおはしあつまりて
 人ノもたちさはけはなくノいて給ぬ女御
 をはさらにもきこえずこの大将の御かたなど
 もいみしうなけ給心おきてのあまねく人の
 このかみ心に心ちみたれ侍へりときこへ給
 えはなくノいて給かちなとまいるそうちか
 つかへるたちさはきおとゝなともおはしあつ
 まりいもつとの君たちもいみしうなけ給所

おきてあまねき人のこのかみに国
 12 48 04 とてとて穂
 12 48 04 かきこえかきりきこえ阿
 12 48 04 ともなど保頼穂
 12 48 04 ちかうちかく保頼穂
 12 48 05 などとも各
 12 48 05 人ノも人ノ保
 12 48 06 女御をは女御は各
 12 48 06 などともとの麦阿
 12 48 06 いみしういみしく頼
 12 48 07 このかみ心にこのかみに心に各
 12 48 07 右の大との右大臣との各みきのおほいと
 保頼穂 右大将殿国
 12 48 08 むつましきものにむつましく国
 12 48 08 給ければ給けるも国
 12 48 09 ヤト付わきてとりわき保頼穂 ナシ国
 12 48 09 ならねはかひなきなき国なら(ら)ねはか
 ひなききノ上カラヲ書キ、サラニ傍記
 頼
 12 48 09 ありけるナシ国
 12 48 10 女宮にも女宮も国
 12 48 10 つみにえたいめしつゐにえたいめんし各
 穂えついにたいめむし保国頼たいめむた
 いめ国
 12 48 10 きこえナシ保国頼穂
 12 48 10 あわのナシ国
 12 48 10 きえいるきゆる保頼穂
 12 48 11 心ハ心歎保
 12 48 11 ねむころにいとねんころに各ナシ国

12 48 11 ふかくもふかうしも各国ふかうふかく国
 12 48 11 なかりしかみえ給はさりしか国なりしか
 阿なかりしかと頼
 12 48 11 いとナシ各
 12 48 11 あらまほしくあらまほしう各国穂
 12 48 12 もてなしかしつきもてかしつき各もなしよ
 しつき国
 12 48 12 へキこえてへキこへ国聞え給てけり麦
 阿
 12 48 12 けなつかしうなつかしう保麦阿頼穂 けなつ
 かく国なつかしく頼穂
 12 48 12 心はへ心はへの各
 12 48 12 おかしうをかしく頼
 12 48 13 すくい給ければすくい給ければ各保頼穂す
 こし給ければ保穂
 12 48 13 ことにナシ保国頼穂
 12 48 13 かくかう国
 12 48 14 あやしくあやしう各ナシ国
 12 48 14 なへての世すさまじうなへての世すさまじ
 く保頼なへてのよにもすさまじくは国ナシ
 穂
 12 48 14 思給へけるおもひ給し各思たまつける保麦
 阿頼穂 思給えりし国 思給ける麦阿 おもふ
 たまひける頼 おもふたまふける穂
 12 48 14 なりけりとなりけりとのみ国
 12 48 14 思いてたまふに思ひいて給にも各
 12 48 14 いみしうていみしう各国いみしくて保
 穂

12 49 01 心くるし心くるしう国
 12 49 01 宮す所宮すん所保
 12 49 01 いみしういみしく頼
 12 49 01 人わらへ人わらはれ各保国人わらはれへ
 頼
 12 49 01 ちおしとくちをしう各麦阿
 12 49 02 ことかぎりなしことほりなり国
 12 49 02 などナシ国
 12 49 02 いはむかたなくナシ国
 12 49 03 さきたよめさきたよめと穂
 12 49 03 世のことはりなうよのことはりなく各保国
 頼穂
 12 49 03 づらいづらういみしき各保頼穂 づらくいみ
 しき保頼 いみしき国 づらき麦阿
 12 49 03 たまへとたまへは(と)各
 12 49 04 うたてつたてと各うたてつてく保
 12 49 04 のみナシ国
 12 49 04 おほされておほしてやみぬれは保穂 おほい
 てやみぬれはかならずしも国 おほしてやみ
 ぬれはヲ削ツテとヲ書クカ「頼
 12 49 04 なかくれなからへん各なかれ頼
 12 49 04 としもとも各ともいかにも国
 12 49 05 なむとなど国
 12 49 05 き給はきき給ては保頼穂 きき給ては
 保
 12 49 05 さすかにナシ国
 12 49 05 かしナシ保頼穂
 12 49 06 おもひたりしも思たりしは国

12 49 06 かゝるへきかゝるへかり(き) 八ヶヲ書

ク中途「頼

12 49 06 ちきりにてちきりに国

12 49 06 こともことん保

12 49 07 おほしよるにおほしよるそ国おもほしよる

に穂

12 49 07 もの心ほそつてものゝ心ほそくて保もの

心ほそく国もの心ほそくて頼心ほそくて

穂

12 49 07 うちなけれうちなけれ各うちなき

国

12 49 07 給ぬ給ぬる国

12 49 07 やよひ三月国

12 49 08 なれはなりぬれは国

12 49 08 そらのけしきそら保国頼穂

12 49 08 ふ「毛」のつらゝかにて「う」ゝかにて各保頼

穂「う」ゝかに国

12 49 08 この君このきみは保頼穂

12 49 08 いかのほとにいかなとのほとに保国頼

穂

12 49 08 なり給てなりたまひて保

12 49 08 いとしろつゝつくしうほとよりはおよすけて

物かたりなとし給おとゝわたり給てナシ麦

阿

12 49 08 しろうしろうしく保穂ナシ国ししろう頼

12 49 09 ふ「ウ」くしつうつくしけに保頼穂

12 49 09 およすけておよすけ給て保頼穂給てたま

石たまへりト書イテへノ上カラてヲ書ク、り

ノ上カラモヲ書ク「頼」

12 49 09 給てたまひつゝ保頼穂たまひつゝ保

12 49 09 御心ちは御心ち国おほむ心ちは穂

12 49 10 さはやかにさははやかに保

12 49 10 なり奉り阿

12 49 10 たまひにたりやたまひたりや各給ひぬや保

穂給えり国たまへりや頼

12 49 10 いてやいて各

12 49 10 かひなくかひなふかひノ上カラ

カ「頼」 ヲ書ク

12 49 10 御ありさま御さま保阿頼穂さま国

12 49 11 かくかうも保頼穂ナシ国

12 49 11 みなしみ保国頼穂

12 49 11 たてまつりなしたはたてまつりなしたらは

保たてまつりなしたらましかは頼穂

12 49 11 うれしううれしく保国頼穂

12 49 11 おほしおほして各

12 49 12 すてけるすてつる保頼穂

12 49 12 ことゝ身こそとて国

12 49 12 なみたくみてつらみきこえなみたくみつゝ

きこえ保頼穂なみたくみ国

12 49 12 わたり給てきこえたまひて各はたり給て麦

12 49 13 かきりなきさまにかきりなく保国頼穂

12 49 13 もてなしもてかしつき保頼穂

12 49 13 御いかに御いかにも頼

12 49 13 まいらせまいり保国頼穂

12 49 13 たまはむとてたまふはんとて各たまふはむ

とて頼

12 49 14 御さま御ありさま保頼穂御おほむ穂

12 49 14 人ノ人ノも保頼穂ナシ国

12 49 14 いかにかゝ保頼穂

12 49 14 きこえやすらへときこえやすらへは各保国

麦阿頼穂

12 49 14 わたらせたまひてわたり給て保頼穂はたら

せ給て麦

12 50 01 女に女にも麦阿

12 50 01 物し給はゝものゝ給は保

12 50 01 こそこそは各

12 50 01 すちにてすちに国

12 50 01 いまノしくもいまノしくも保穂いまノ

しくもまノノ上ニ ヲ書ク「頼

12 50 02 おまし御まし保

12 50 02 なんとよそひてまいらせ給まいらせなとし給

て国

12 50 02 御めのといとはなやかに御めのとたちいと

はなやかに各いとはなやかに御めのとたち

も保頼穂いとはなやかにことノしく御め

のとたちも国御めのいと花やかに阿

12 50 03 さつそきてさつそき国

12 50 03 御前の御まへの各保頼こせんの国おまへ

の麦阿穂 御まへの頼

12 50 03 物ものゝ保頼穂

12 50 03 いろノをつくしたるいろノにつつした

る国いろノをつくしたる頼

12 50 03 物このもの保ナシ国ニ物頼

12 50 03 心はへとをもうちにもとにも本のナシ

国

12 50 03 ともを各とも保頼穂
 12 50 04 ともナシ麦阿
 12 50 04 本の心ことの心各麦阿
 12 50 04 なに心もなきをなにころなきを各国麦
 阿
 12 50 04 心くるしうころくるしく保国
 12 50 05 わさなりやわさなり各
 12 50 05 おほす宮もおきぬ給て御らんす宮の御まへ
 にい給て国
 12 50 05 ところせういところせう保頼穂ところせ
 き国 いところせく頼
 12 50 05 ひるこりたるナシ国
 12 50 06 いとナシ保頼穂
 12 50 06 くるしとおほして心くるしう国
 12 50 06 なたつてなてつけ国
 12 50 06 木丁をき丁保麦阿頼穂 御木丁を国
 12 50 06 ひきやりてひきやり国
 12 50 07 め給へはあさせたまへは各給へは国 いさ
 りより給へは麦阿
 12 50 07 つかしうてうつくしくて国 つかしくて
 頼
 12 50 07 そむきたまへるをそむかせたまへる各麦
 阿そむきたまへる保頼穂 そむき給えり
 国
 12 50 07 ちひさうちあさく保国頼穂
 12 50 07 ほそり給てほそりなりたまひて保穂 ほそり
 給えり国 ほそくなり給て頼
 12 50 08 きこえてきこへ給て保頼穂 きこえ国
 12 50 08 なかうなかく保頼穂 なから国

12 50 08 うしろはナシ国
 12 50 08 ことにことにきたりければ保
 12 50 08 けちめかはるけちめ保頼穂
 12 50 08 みえたまはぬふとみえぬ国
 12 50 09 にひいろともにひいろの御そん保頼穂と
 んとも頼穂にひいろに国
 12 50 09 き給てきたまて保
 12 50 10 御かたはらめかたはらめ国頼
 12 50 10 こともことん(ち)保
 12 50 10 なまめかしうなまめかしう国頼
 12 50 11 こそこそは穂
 12 50 11 なをナシ保国頼穂
 12 50 11 いとナシ国
 12 50 11 めもめ保国頼穂
 12 50 12 ことはたゆましきそかしと思なくさめこと
 たゆましと思ならなくさめ国
 12 50 12 はへれと侍れとも各
 12 50 13 ふりかたうなをふりかたく保国頼穂ふりか
 たくふりかたう頼
 12 50 13 なみたのかな国
 12 50 13 人わるさをいとかうひとわるきをいとほし
 く保国頼穂いとほしくいとほしう国 人わ
 ろさをいとかう麦
 12 50 13 思すてられたてまつる身のとかに思なすも思
 ひすてらるゝ身のつみに思なせと国
 12 50 14 さまノにさまノみに頼
 12 50 14 むねいたうむねいたく保頼穂ねたく
 国
 12 50 14 ちおしくくちをしう各穂

12 51 01 うちなけきうちなかく保国穂
 12 51 01 たまひてたまて保
 12 51 01 いまはとていまはとて国
 12 51 01 おほしはなれはおほしはなれなは保頼
 穂
 12 51 01 御心とナシ保国頼穂
 12 51 02 ずて給けるとずて給と国
 12 51 02 つかしうナシ国 つかしく穂八うノ上
 カラクヲ書ク頼穂
 12 51 02 おほゆへき思へき国
 12 51 02 なをなをノ国
 12 51 02 あはれとあはれとは保頼穂 あはれとは
 頼
 12 51 02 おほせおもほせ保おほせよ国頼穂 おもほ
 せよ穂
 12 51 02 きこえたまへはきこえたまふは各の(きこ
 え)たまへは頼
 12 51 03 さまのナシ国
 12 51 03 物のあはれものゝあはれを各
 12 51 03 しらぬものときしをしらぬときしを国 し
 らぬものときしを ノ上カラぬヲ書ク
 頼
 12 51 03 ましてまいて国 ましく麦
 12 51 04 ことにてことにては穂
 12 51 04 きこゆへからむきこえへからむ各
 12 51 04 のたまへ のたまへは 八明融本「は」各
 保国麦阿頼穂
 12 51 04 おほしるおほししらぬ各
 12 51 05 かたナシ麦阿

12 51-05 物をナシ国頼
 12 51-05 はかりナシ各国のみ穂
 12 51-05 の給きしてのたまひ(さ)して各の給てさ
 して保

12 51-05 わか君をわか君をも各
 12 51-05 みたてまつり(み)だてまつり保

12 51-05 御めのとたちは御めのとたち保頼穂(御)お
 ほん穂(め)のとたち(国)

12 51-06 あまたさ(ら)ふ(ら)ふナシ保国頼穂

12 51-07 などの給おし(へ)給国

12 51-07 世によはひのすえに国

12 51-07 おひ(つ)思(い)つ穂

12 51-07 こ(そ)こ(そ)は国

12 51-08 いとナシ国

12 51-08 こえてし(ら)う(つ)く(し)大将なと(こ)ゑ給えり

大将殿国

12 51-08 し(ら)う(つ)し(ら)く保頼

12 51-09 ち(こ)お(ひ)御(ち)こをひ保頼穂(ち)こ(お)ひの
 国

12 51-09 ほ(の)か(に)ほ(の)か(に)保

12 51-09 お(ほ)し(い)つ(る)お(ほ)し(い)て(ら)る(ら)保国頼(お)ほ
 し(い)て(ら)る(穂)

12 51-09 には給はず女御の御宮たちはたち(ナ)シ
 穂

12 51-09 御宮たちはた(宮)たちはた(各)頼(み)や(た)ち(そ)
 た(保)宮(た)ちは(国)宮(た)ちは(た)麦(阿)

12 51-09 ち(み)か(の)ち(宮)の(国)

12 51-10 御(か)た(さ)ま(に)御(か)た(さ)ま(保)頼(穂)

12 51-10 わ(う)け(つ)き(て)わ(う)け(つ)き(各)た(あ)い(き)や(う)

つき国(かう)け(つ)きて(阿)

12 51-10 けた(かう)け(か)た(かう)保(けた)かく(国)頼

12 51-10 お(は)し(ま)せ(お)は(し)ま(さ)へ(各)を(は)す(れ)保(頼)
 穂

12 51-10 こ(に)す(く)れ(て)さ(ま)こ(に)す(く)れ(て)国(こ)
 と(に)す(く)れ(て)頼

12 51-10 め(て)た(う)し(も)わ(ら)ら(か)に(も)各(わ)ら(ら)か(に)う
 つ(く)し(け)に(も)保(頼)穂(わ)ら(ら)か(に)つ(く)し(け)
 に(国)

12 51-11 お(は)せ(す)お(は)し(ま)さ(す)国

12 51-11 こ(の)君(こ)の(き)み(は)保(国)頼(穂)

12 51-11 そ(へ)て(そ)ゑ(国)

12 51-11 ゑ(か)ち(な)る(ゑ)み(か)ち(な)る(保)麦(阿)(ゑ)み(か)ち
 な(る)保

12 51-12 な(と)ナシ(保)国(頼)穂

12 51-12 あ(は)れ(と)あ(は)れ(に)保(頼)穂

12 51-12 な(を)ナシ(国)

12 51-12 よ(う)か(う)各(ま)う(国)よ(く)頼

12 51-12 お(ほ)え(たり)お(ほ)え(たり)保

12 51-13 ま(な)こ(の)と(か)に(ま)な(こ)の(と)か(に)各(保)
 麦(阿)(ま)な(こ)の(と)に(国)

12 51-13 は(つ)か(し)き(さ)ま(も)心(は)つ(か)し(き)さ(ま)に(保)
 穂(ナ)シ(国)心(は)つ(か)し(き)さ(ま)よ(頼)

12 51-13 は(な)れ(て)は(な)れ(国)

12 51-13 お(か)し(き)な(つ)か(し)き(保)国(頼)穂

12 51-13 か(を)さ(ま)か(ほ)さ(ま)ま(推)読(保)

12 51-14 宮(は)宮(は)た(国)

12 51-14 さ(し)も(お)ほ(し)わ(か)す(人)は(た)さ(ら)に(し)ら(ぬ)さ
 も(お)ほ(し)わ(か)ぬ(国)

12 51-14 お(ほ)し(わ)か(す)お(ほ)し(よ)ら(わ)か(す)頼

12 51-14 さ(ら)に(ナ)シ(頼)

12 51-14 た(ひ)と(ころ)の(ナ)シ(国)

12 52-01 御(心)の(うち)に(御)心(の中)各(麦)阿(中)ち(麦)阿(

12 52-01 の(み)そ(の)み(こ)各(ナ)シ(国)の(み)そ(頼)

12 52-01 あ(は)れ(い)て(あ)は(れ)保(国)頼(穂)

12 52-01 み(給)に(み)給(も)国

12 52-02 さ(た)め(な)さ(も)は(か)さ(た)め(な)さ(も)頼

12 52-02 お(ほ)し(つ)け(ら)れ(て)な(み)た(お)ほ(し)ら(れ)て
 御(な)み(た)国

12 52-02 け(ふ)は(け)ふ(各)

12 52-03 日(を)と(を)と(保)頼(穂)ひ(と)お(ほ)して(国)

12 52-03 か(く)し(給)か(く)して(国)

12 52-03 思(て)な(け)く(に)思(に)な(け)き(に)保(頼)穂

12 52-03 た(へ)たり(た)え(た)れ(国)

12 52-04 す(う)し(す)ん(し)各(保)国(す)し(麦)阿(頼)穂

12 52-04 五(十)八(を)三(十)一(に)は(国)

12 52-04 と(お)り(す)て(た)る(と)を(と)り(す)て(た)る(各)と
 を(り)す(き)た(る)国(と)を(と)り(す)て(た)る(らん)イ(

12 52-04 な(れ)と(な)れ(と)も(麦)阿

12 52-04 な(り)た(る)な(り)に(た)る(保)頼(穂)な(り)た(く)国(な)
 り(に)た(る)頼

12 52-04 心(ち)御(心)地(国)

12 52-05 し(給)て(して)阿

12 52-05 物(あ)は(れ)に(あ)は(れ)に(各)

12 52-05 汝(か)ち(に)と(も)な(ん)ち(か)ち(に)も(保)頼(穂)(ゑ)
 か(ち)に(も)と(国)な(ん)ち(か)ち(に)み(も)阿

12 52 05 いさめまほしういさめはほしう各いさめまほしくは国いさいさめほしう麦いさまほしう阿いさめまほしく頼
 12 52 05 おほしけむおほされけん保頼穂
 12 52 06 心御心を国
 12 52 06 中にもなかにも保なかには国
 12 52 06 あらむかしあるへし国
 12 52 06 しらぬその人としらぬ保頼穂そのひとしらぬ国
 12 52 06 ねたけれわるけれ国
 12 52 07 みるらんとみる人ノもあらむかしとは保穂みる人もあらんと国みるひとあらむかしと頼
 12 52 07 おほせとおほすも麦も阿
 12 52 07 御とが御ためとが保頼穂御おほん穂ためのとが国
 12 52 07 あるあらむ保頼穂
 12 52 07 あへなむあらなん穂
 12 52 07 ふたついはむには女の御ためこそふたつある事いはんにはをんなの御ためこそ各女の御ためこそふたついはむには保国頼穂
 12 52 08 いとおしけれいと物しけれ各をしけれ国
 12 52 08 おほしておほいて穂
 12 52 08 たまはずたまはぬに保頼穂給はぬを国
 12 52 08 なに心なうなにころもなく保国頼穂なうなう穂
 12 52 09 物かたりして物かたりうちし国

12 52 09 給へるまみ給国
 12 52 09 うつくしきもうつくしきも各うつくしてきも保うつくしきか国
 12 52 10 人は人そ保人のいはる国
 12 52 10 なをナシ国
 12 52 10 にかよひたりけりかよひたりけり各麦わかよひたり国
 12 52 10 み給にみたまふ各見たまふまんに保国頼穂
 12 52 11 ない給らむにもなき給らんにも国ない給に麦阿
 12 52 11 えみせずえみせず各
 12 52 11 人しれすはかなきかたみ人しれぬかたみ国
 12 52 11 はかりをを国
 12 52 11 とくめをきてとくめて国とくをきて麦
 12 52 12 思あかりおもひあかりて保頼穂おもひあかりて頼
 12 52 12 心もて心と国
 12 52 12 おしければ物しければ各をしきければ保おほしければ麦阿
 12 52 13 めさましとおもふめさましかりし保頼穂めさましかりる国
 12 52 13 心も御心も国
 12 52 13 うちなかれ給ぬうちなかれたまひぬ各ナシ国うちなかれぬ麦阿
 12 52 13 人ノ人ノの国
 12 52 14 ほとに宮のほとめま宮の国
 12 52 14 宮の御もとに宮の御もとに保ナシ頼

穂
 12 52 14 たまひて給阿
 12 52 14 いかナシ保国頼穂
 12 52 14 すてくヨきて国
 12 53 01 たまひぬへきぬへき麦阿
 12 53 01 心う心うや国
 12 53 01 おとろかしおとろかし頼
 12 53 02 うちあかめてうちあかみて保穂
 12 53 02 おはすナシ各
 12 53 03 たかよにかたかせ(世)にか保
 12 53 03 たねはまきしとたねはまきけむしと保
 12 53 04 きこえ給にきこえ給へは国
 12 53 04 御いらへも御いらへは保頼穂
 12 53 04 なつてなくて保国頼
 12 53 04 おほせはおほせとは保
 12 53 05 きこええきこへ保穂
 12 53 05 おほすらむおもほさるらむ保頼穂おほさるらん頼
 12 53 05 ものふかうなとはものふかくなとは保頼穂ものはふかく国
 12 53 05 おはせねとおはせねはと各おほさるめれと国
 12 53 05 いかてかはいかてか国
 12 53 06 たにはとたには各と穂
 12 53 06 給も給ひとも国
 12 53 06 心くるしうころくるしく保国
 12 53 06 大将のきみは大将君は国
 12 53 07 いてたりしをいてたりし国

12 53 07 いかなるいかなりけむ保頼穂
 12 53 07 ことにかことにかは国ことにかは頼
 12 53 08 うちいてそめたりしうちいてそめたりたり
 し保うちいてたりし国
 12 53 08 ようよく国
 12 53 08 けしきはみてましをけしきはみましを麦
 阿
 12 53 09 いふかひなきゆふかひなき頼
 12 53 09 とちめにてとちめにしも保頼穂
 12 53 09 おりあしうをりあしく各たいめして保頼穂
 「たいめたいめん頼」
 12 53 09 いふせくてあはれにもあはれにいふせふ
 保いふせくも国あはれにいふせくも頼穂い
 ふせくもいふせくも穂
 12 53 10 おもかけおもむけ国
 12 53 10 わすれかたうてわすれかたくて国頼
 12 53 10 しめてこのきみそしひて保頼穂この君そい
 みしう国
 12 53 10 おほえ給けりおほされける保頼穂おほしけ
 る国
 12 53 11 女宮のかくひめみやのかくて保国頼穂
 12 53 11 たまへる給保国頼穂
 12 53 11 ありさまありさまを各
 12 53 11 おとろしきををとろしきかヲ削ッテ
 ノヲ書クカ保おとろかしき国頼穂
 12 53 11 御なやみにも御なやみにても各
 12 53 12 すかやかにナシ国
 12 53 12 おほしたちけるおほしたち保国頼穂
 12 53 12 ほとよナシ保国頼穂程に麦

12 53 12 さりとともさりととも保頼穂さりとて
 国
 12 53 13 申給とまうし給と保
 12 53 13 きしをはきしを各きしをは頼
 12 53 13 ことにことにて各
 12 53 13 おほしてつるにおほしまとひて国
 12 53 14 とよめとめ国
 12 53 14 たてまつりたまへる給へる保国穂きこえた
 まへる頼
 12 53 14 ものをよ国
 12 53 14 思たくおもひつくる保頼穂
 12 54 01 なをなを気色おもひより給国
 12 54 01 心はへえしのはぬこころはえの忍ぬ各をり
 ノえしのはぬ国心はへえしのはぬ穂
 しのはぬ頼心はへえしのはぬ穂
 12 54 01 おりしをりしも保頼穂おりも国
 12 54 01 ようよく頼
 12 54 02 もてしつめたるもてなししつめたる各
 12 54 02 けにも国
 12 54 02 のとかにしつやかに国のとかに頼
 12 54 02 なにことをなに事も各なにか保国頼
 穂
 12 54 03 思らむとは国思たんと阿
 12 54 03 みるひとみゆる事も各みゆる人も保
 頼みゆるにも麦阿
 12 54 03 までをり国
 12 54 04 なよひすきなよひ国
 12 54 04 けそかしけそかし各

12 54 04 いみしうともいみしう思こるぶかくとん
 保頼穂いみしういみしく頼いぶかくぶか
 ぶかく保いとんとも頼穂いみしく思にふ
 かくとも国
 12 54 04 心を心を頼
 12 54 05 かふへきかふへき保
 12 54 05 ことナシ保穂
 12 54 05 ためにも御ためにも保穂ためには国御た
 めも頼
 12 54 05 いとおういとをしく保頼穂
 12 54 05 わか身は我身各我みをはた保頼穂わか身
 をは国わか身はた麦阿
 12 54 05 いたつらにやいたつらに保国頼穂
 12 54 06 なすへきなすこと保頼穂
 12 54 06 かるしうかるしうしう各国麦阿頼かる
 ノしく国
 12 54 06 あちきなきことあちきなし国
 12 54 07 なりかしかし国
 12 54 07 思へとおもへとも各麦阿おもひて保国頼
 穂
 12 54 07 をむな君に女にきみに保
 12 54 07 きこえいてきこえいて保
 12 54 07 さるへきナシ国
 12 54 08 なくてなうて穂
 12 54 08 またまた国
 12 54 08 え申給はざりけりえ申給はす各きこへい
 て給はざりけり保頼穂きこえ給はざりけり
 国
 12 54 08 かることをなむさることをなんと国

12 54 08 かすめしと申いてゝかすめしともきこへい
 てゝ保国頼穂
 12 54 09 御けしきも 御けしきは保頼穂
 12 54 09 はゝきたのかたはなみたのいとまなくおほし
 へつみてはかなくすくるひかすをもはゝか
 たのかたはなみたにしつみてはかなうすきに
 けるひかすとも国
 12 54 10 いとまなくひまなく麦阿
 12 54 10 ひかすをも 日数も麦阿
 12 54 10 御わさおほむわさ国
 12 54 11 ほつふくほつふくの保頼穂 ほうむくの
 国
 12 54 11 御さうそくさうそく頼
 12 54 11 なにくれのなにくれと国
 12 54 11 いそき 御いそき保麦阿頼穂
 12 54 11 君たち ナシ国
 12 54 11 とり／＼になむとりわきなん各にそ保頼
 穂とり／＼に国
 12 54 12 給けるたまふ(ひ)ける頼
 12 54 12 をきて 御をきて保頼穂
 12 54 12 なとも なんととも各
 12 54 12 右大弁の君さ大弁のきみそ保穂 右大弁そ
 国 右大弁君麦阿 左大弁の君にそ頼
 12 54 12 せさせ給せさせ給ける国
 12 54 12 七日／＼のなぬか／＼の頼穂
 12 54 12 御す行 みすきやう保頼穂
 12 54 12 なとを なんととも国
 12 54 13 きこえおとろかすにもおとろかすを国
 12 54 13 なきかせそ なきかせそ頼

12 54 13 かくナシ国
 12 54 13 いみしといみしう保
 12 54 13 思まとふに 思こゝるまとひに保国頼穂
 12 54 13 みちみちの各
 12 54 14 やうにやうにのみ保頼穂
 12 54 14 おほしほれたり おほしほれたる各穂
 12 54 14 一条の宮には 一条宮には国阿
 12 54 14 おほつかなうて おほつかなくて各保国頼
 穂
 12 55 01 たまひにしうらみさへ 給にしか心も国たま
 ひしつらみさへ穂
 12 55 01 そひてそひ各
 12 55 01 うちつちに保頼穂 うちに頼
 12 55 01 人けすくなう 人めすくなく各 人けすくなく
 保頼 いと人けもなく国
 12 55 02 心ほそけにて 心ほそくて国
 12 55 02 したしくしたしう各麦阿 かのきみのしたし
 く保頼穂(したしくしたしう穂)かの君の
 国
 12 55 02 給し 給麦阿
 12 55 02 人は人／＼は保国頼穂(人／＼は)頼
 12 55 02 まいり まさり阿
 12 55 02 とふらひきこゆ つかまつりなとして保頼
 穂(つかまつり つかまつり穂)とふらひな
 として国
 12 55 03 このみ給し このみなまひし保
 12 55 03 あつかりともゝあつかりとも保頼穂 あつか
 りともなと国
 12 55 03 みなナシ国

12 55 03 つくところなうつくところなく保頼穂つき
 とともなく国
 12 55 03 思うして 思ひくんして各頼穂 おもひつむし
 て保 思て国 おもひくして頼穂
 12 55 04 いている いていりする国
 12 55 04 み給も みきゝ給も保頼 みる給にも国 き
 へ給も穂
 12 55 04 こと(に)こと(に)麦
 12 55 04 あはれあられ国
 12 55 04 つきぬ つきせぬ保国頼穂
 12 55 04 ありける ナシ国 ありけり穂
 12 55 05 御てうとも 御てうとも保頼
 12 55 05 へ(こ)む わ(こ)む保
 12 55 05 などのなと各保国頼穂
 12 55 06 やつされて やつされつゝ保国頼穂
 12 55 06 ねを ねも国
 12 55 06 たてぬも たてぬと各
 12 55 06 いとむもれいたき いはとむもれいたき保
 とむもれたき国
 12 55 06 なりやなりやと保
 12 55 06 御前の 御まへの 各国麦阿頼 をまへの保穂
 12 55 06 いたう いたく保頼
 12 55 07 けふりて 花は時をわすれぬけしきなるを ぶ
 りてはなのにはときもわかすなと国
 12 55 07 なかめつゝ うちなかめつゝ保国頼穂
 12 55 07 物かなしく 物かなしう各麦阿
 12 55 07 人／＼も 人／＼保頼穂
 12 55 08 やつれつゝ やつれて国

12 55 08 さひしうさひしく国頼
 12 55 08 はなやかにいとことくはなやかに保頼
 頼穂ことくしくことくしく穂(いとことくしく国
 12 55 09 とまりぬるとまり給国
 12 55 09 あはれあはれに保頼穂
 12 55 09 こ殿の殿ノ国
 12 55 09 こそナシ国
 12 55 09 うちわすれてはナシ保頼穂
 12 55 10 思つれとておほえけると国
 12 55 10 なくもありつちなくもあり保頼つちなくも
 なり穂
 12 55 10 御せつそこ御せつそそそ判読保おほむせ
 つそこ穂
 12 55 11 弁の君弁の国弁君麦阿
 12 55 11 おはしたるとをはしたるにと保
 12 55 12 きよらなるきよらかなる保
 12 55 12 給へり給も国
 12 55 12 もやのひさしにおましよそひてもやひさし
 にをましひきつくるひて保頼やひさしく
 ひきつくるひて国もやのひさしにをましひ
 きつくるひて穂
 12 55 13 やつにさやつに国
 12 55 13 人ノ人国
 12 55 13 あへしらひきこえむはあひしらひきこえん
 も各国あへしらひきこえむ保あへしらひ聞
 えん去麦ノも虫損ニテ推読「麦阿あひしら
 ひきこえん頼穂(あいあや)(頼)

12 55 14 し給へればしたまへは各
 12 55 14 みやす所宮すん所保
 12 55 14 たいめたいめん各国頼穂
 12 55 14 し給へるし給つる保し給国
 12 55 14 思給へななくおもふたまへなく各国頼思
 給ななく麦阿
 12 55 14 さるへき人ノにも人より保国頼穂
 12 56 01 はへれと侍けれと国
 12 56 01 かきりあればかきりありければ保頼穂あま
 りありければ国
 12 56 01 きこえさせきこえさせ給各
 12 56 01 やるかたなつてやるかたなくて保国麦阿頼
 穂
 12 56 02 侍りにけり侍るにけり国
 12 56 02 いまはのほどもいまはのほどもに各国
 12 56 02 ことも保国穂
 12 56 03 なれとなれとも各
 12 56 03 けちめにはけちめは保頼穂けちめにも
 国
 12 56 03 思たまへをよはむおもふたまへをよはん各
 保頼穂
 12 56 04 なむなん思たまふるを保国頼穂(思たまふ
 るおもひたまふる頼思給る穂)
 12 56 04 神わさかむわさ保おほやけこと国神はさ
 麦
 12 56 05 つくノとつれノと国
 12 56 05 こもりゐはへらむもこもり侍らむも保国頼
 穂
 12 56 06 ことに保頼穂

12 56 06 なりければ侍りければ保頼穂はへりけぬ
 れは頼
 12 56 06 はたはた又各などは保国頼穂
 12 56 06 中ノ中に中ノ保頼穂
 12 56 06 思給へらるおもふたまへらる各頼思給らる
 保
 12 56 06 へうてへくて保頼へければ国
 12 56 07 なむなんと頼
 12 56 07 日ころを日比麦
 12 56 07 すくしすこし穂
 12 56 07 侍りにける侍ける保はへりにける
 頼
 12 56 07 みたりみだし保頼穂
 12 56 07 みきくきノ国
 12 56 08 やみをはやみは国
 12 56 08 ふかくふかき国
 12 56 08 思とよめおもひとめ保頼穂思とちめ
 国
 12 56 09 ほとをほと麦阿頼
 12 56 09 きこえさするにいときこえさするも国
 12 56 09 しはノいとしはノ保頼穂
 12 56 10 はなうちかみたまふ給国
 12 56 10 あさやかにけたかきあさやかなる麦阿
 12 56 10 なつかしういとなつかしう国なつかしく
 頼
 12 56 10 なまめいたりなまめきたり頼
 12 56 11 みやす所もみやす所各宮すん所もすこし保
 国頼穂(宮すん所宮す所国頼穂)
 12 56 11 ことは事をは国

12 56 11 そのよそのの各
12 56 11 つねなきのよのつねなき国
12 56 12 ことわざはとことわざは各ことわざは侍る
国 事ことわざはと穂

12 56 12 ことわざはとことわざは各ことわざは侍る

12 56 13 心つよう心つよく国頼

12 56 13 さらにに保国頼穂

12 56 13 おほしいりたるさまのおほしいり給えるさまは国

12 56 14 やつにさまにのみ国

12 56 14 心つかりけるつかりける国

12 57 01 かくナシ保国頼穂

12 57 01 ありさま有様麦

12 57 01 給へすくすへきみ給すくすへき麦阿みた
まひすくすへき穂

12 57 02 しつ心なくなむしつ心なくのみなん頼

12 57 02 御なからひ御ならひ保

12 57 02 きをよはせきをよはせ保きよおかせ
国 きをよはせ頼

12 57 03 やつも事も各

12 57 03 はへりけむはへりつ覽頼

12 57 03 おさへナシ各

12 57 03 うけひきこえさうけひききこえさ
りし各

12 57 04 御心むけ御をもふけ保国頼穂 御おもむけ国

頼穂

12 57 04 心くるしう心くるしく頼

12 57 04 やつにさまに国

12 57 04 おほしゆるいたるおほしゆるしたる保国頼

穂

12 57 05 御けしきおほむけしき穂

12 57 05 なとナシ国

12 57 05 はへしかは侍しかは各保麦阿頼穂 ありしか
は国

12 57 05 さらはさら各保

12 57 06 思給へなしておもふたまへなして各頼 思給
へなをして国

12 57 06 なむナシ国

12 57 06 みたてまつりつるをみたてまつるを各穂み
給えつるを国

12 57 06 かくナシ頼

12 57 06 ことを事各

12 57 06 みたまふるにみ侍に保頼穂 み給国 見給ふ
に阿

12 57 07 思給へあはすれはおもふたまへあはすれは
各おもひあはせ侍れば保頼穂 あはすれは
国

12 57 07 身つからのほかなき身つからの各保国頼

穂

12 57 07 おなしうはをなしう各おなしくは保国

頼

12 57 07 つようもおのつからも各つよくも国

頼

12 57 08 思はへるにおほえ侍る国

12 57 08 なをナシ国

12 57 08 かけしうくちをしう保ナシ国 かけしう
頼

12 57 08 かけしうくちをしう保ナシ国 かけしう
頼

12 57 08 それはナシ国

12 57 08 かけしうにいとかけしうに保頼穂 かけしうに国

12 57 08 はへらさりきかし侍らす保国頼穂

12 57 09 みこたちは御子たちは各みこたちの保国頼

穂

12 57 09 ならてなくて国

12 57 09 あしくもよくもあしつもよくも保穂

12 57 09 かけしうにかけしうの保頼穂 かけしうにさま
りて国

12 57 09 ことはは国

12 57 10 え心にくからぬこころにくからぬ各麦阿心
にくからす国

12 57 10 ことわざ保頼穂 ためし国

12 57 10 ふるめき心にはふるめかき心に保国穂 ふる
めめかきかはこころに頼

12 57 10 思侍しをナシ各をもひ侍りしことの保頼
穂 思給わたりつることの国

12 57 10 よらすよからす各国

12 57 11 つぎナシ阿

12 57 11 けふりにもけふりに頼

12 57 11 給なむはたまひなんも保頼穂 給なん事
国

12 57 12 このナシ国

12 57 12 ためのため保国麦阿頼穂

12 57 12 ちおしかるましけれとくやしけなきを保
頼穂 かけしけなきを国

12 57 12 かりとてもかけしとても保国頼穂

12 57 13 すくよかにすくよりに保すくよかに国

頼穂

12 57-13 思しつむましう 思しつむましく国頼
12 57-13 かなしう かなしくちをしう保国頼穂 かなしくちをしく頼

穂

12 57-13 みたてまつり みたてまつりなけき保国頼
12 57-13 うれしう うれしく国頼 つれし麦阿
12 57-14 あさからぬ しはノあさからぬ保頼穂 人ノあさからぬ国

12 57-14 たひノに ナシ保国頼穂
12 57-14 なり侍めるを たえ侍らさめるを保国頼穂 たえはへらへさ(めるを頼

もと頼

12 57-14 ありかたうもとありかたうと国ありかたう
12 57-14 はへるも 侍は保国頼穂
12 58-01 さらは ナシ国
12 58-01 かの かの保

国

12 58-01 御ちぎりありける 御ちぎりの侍りける
12 58-01 こそはとこそと各こそ保国頼穂
12 58-01 思やうにしも 思やうも保 おもふやうにも頼

穂

12 58-01 みえさりし みえ侍らさりし国
12 58-01 御心はへなれと 御ころはへなれとはノ上
カフとヲ書ク各 御はへなりしかと国 御心はへ穂

12 58-02 これかれ かれこれ各
12 58-02 つけをき給ひける つけをい給えりける

国

12 58-02 御ゆいこん ゆいこん保頼穂

12 58-02 あはれなるにあはれなるに頼

12 58-02 うきにも うきも保頼穂 うきに国

12 58-03 うれしきせは うれしきせ国

12 58-03 いたういみしう各麦阿 いたう国 いたく頼

12 58-03 ない給なき給国

12 58-03 けはひ 御けしき保頼穂 気色国

12 58-03 とみにええとみに保頼穂 うちとに国 とみに阿

12 58-04 あやしう あやしう国麦阿頼

12 58-04 こよなく こよなく各保穂 いたう国

12 58-04 かるへうてや かるへうて国穂 かるへうて頼

12 58-05 この二三ねんにはかにこの四五年国

12 58-05 いたういたく頼

12 58-05 しめりてくしめり国

12 58-05 物心ほそけに もの心ほそけに頼

12 58-05 みえものし保国頼穂 ものし保

12 58-05 給しかは たまひましかは穂

12 58-06 ことはりをことばり国

12 58-06 おもひしりたとりしり保頼穂 たとひしり

国

12 58-06 ものふかう ものふかく頼

12 58-06 人の人は国

12 58-06 すみすきて 身すきて国

12 58-06 ためし ナシ保頼穂 たくひおほく国

12 58-07 うつくしからす うつくしからぬ保頼穂

12 58-07 かへりては かへりて麦阿

12 58-07 あさやかなる あさやきたる各

12 58-07 おほくおほえ 麦虫損ニヲ推読保国麦阿頼

穂

12 58-07 うすらくうすく穂

12 58-08 つねにはかノしからぬ心にいさめきこえし

かは はかノしからぬ人はつねにきこえし

かは 保頼穂 はかノしからぬおしへをつねに国

12 58-08 心に心には阿

12 58-08 心あさしといと心あさしと国

12 58-08 思たまへりし おもふたまへりし各頼

12 58-09 よろつよりも よろつもの事国

12 58-09 人に人よりことに国

12 58-09 まさりてまさり侍穂

12 58-09 御心のうちの 御心のうち国穂

12 58-09 かたしけなれと かたしけなれは麦

阿

12 58-10 心くるしうも 心くるしう国 心くるしくも

頼

12 58-10 かなとかなと各麦阿

12 58-10 なつかしう なつかしく頼

12 58-10 ほとへてそほとへて保頼穂

12 58-11 五六年のほと五六年の各五十六はかりの保

頼穂五六いつむつ頼 ひとつむつ国

12 58-11 いとナシ国

12 58-12 なまめき ナシ保頼穂

12 58-12 あいたれてあいたれてそ保国頼穂

12 58-12 給したまふ保

12 58-12 をしきおかしき国阿

12 58 13いとナシ保頼穂
 12 58 13わかうわかく保国頼穂
 12 58 13きよらなるきよらかなる保きよけなる
 国
 12 58 13たまへるたる国
 12 58 13わかき人ノはわかき人は保国頼穂わかき
 人々麦阿
 12 58 14ものかなしさもすこしものかなしさすこ
 し保頼すこしものかなしさ国ものかなし
 さすこし穂
 12 58 14たてまつるたり保国頼穂たまへり頼
 12 58 14御前をまへ各保麦穂御まへ国阿頼
 12 58 14ちかきちかきノ上カラきヲ書ク頼
 12 59 02くちすさひてくちすさみて各くちすさひに
 保国頼穂くちすさみに国頼穂
 12 59 03わざとならずわざとなく保頼穂
 12 59 04ハスしなしてすんしなして各すしなした
 まひて保頼穂しなして国すしなしたまひ
 て頼
 12 59 04たち給たちたまふほと保国頼穂
 12 59 04いとハスいとハス保麦阿頼穂
 12 59 05やなきのめやなきかめ寄
 12 59 06ふかきよしにはあらねとふかハらねと国ふ
 かきよしあらねと阿
 12 59 06いまめかしういまめかしく保頼
 12 59 06ありとはありと国
 12 59 06かういかひ国
 12 59 06なりけりなり保頼穂
 12 59 07けにめやすきおかしき国

12 59 07よういよそい保
 12 59 07み給みえ給国
 12 59 07ちしの大殿にやかてやかてちしの大とのに
 各麦阿おほとのにやかて保国頼穂
 12 59 08ものし給けりものしたまふ保国頼穂
 12 59 08こなたになほこなたに保頼穂
 12 59 08いらせたまへわたりいらせたまへ頼
 12 59 08あれはあれと阿
 12 59 08御いてゐのかたにいてゐに各いてゐのかた
 に国
 12 59 09いりまいらせ国
 12 59 09たいめんたいめ保麦阿
 12 59 09ふりかたうふりかたく頼
 12 59 10いたういと各いたく頼
 12 59 10やせおとろへてやせおとろへ保国頼穂
 12 59 10なともなと国
 12 59 10しけりていたうしけりて国
 12 59 10をやのけうおやのけふ国
 12 59 11けにナシ穂
 12 59 11やつれ給へりやつれたまへりと各
 12 59 11しのひかたければしのひかたかりければ
 各しのひかたう国
 12 59 11あまりにあまり各保国麦阿頼穂
 12 59 12をさまらすかくをさまらす保頼穂かく
 国
 12 59 12はしたなけれいはしたなけれ国
 12 59 12思へはおもひて保国頼穂
 12 59 12せめてそせめて各麦阿
 12 59 12もてかくしたてかくし阿

12 59 13とりわきてとりわき各麦阿
 12 59 13たまひしを給し国
 12 59 13み給に見たてまつりたまふより保頼穂み給
 からに国
 12 59 13ふりにふりおちてふりにふりて国
 12 59 14とハめととめあえ保頼穂とハめ あえ
 頼
 12 59 14御ことハも御こと国
 12 59 14一条の宮に一条宮にも国一条宮に麦
 阿
 12 59 14またたりつるまつてたりつる各まつてハ侍
 りつる保国頼穂
 12 60 01ありさまなどありさまなど各御ありさ
 まなど国有様など麦
 麦阿 かつりきこえたまふに頼
 12 60 01きこえ給かたりきこへ給に保頼穂聞え給て
 12 60 01いとハスいとハス各保麦阿頼穂
 12 60 01春さめかはるさめ保
 穂
 12 60 01しつくにことならずしつくにならず保頼
 穂
 12 60 02ぬらしそへ給ぬらしそへたまふに保頼穂ナ
 シ麦阿
 12 60 02たハむかみにたハつかみに国麦阿
 12 60 02めにそとめにはと国めに阿
 12 60 02ありつるをナシ保頼穂ありつること
 国
 12 60 02かい給へるかき給へる保頼穂かいたる
 国
 12 60 03たてまつりたてまつれ保

12 60 03 たまへは給に国たまへれば頼
 12 60 03 をしほりつゝをしのこひて各をしほり
 頼
 12 60 03 保麦阿頼穂 おしほりて国
 12 60 03 み給みたまひて保頼穂 ナシ国
 12 60 03 うちひそみつゝそみ給 うちひそみ給保国頼
 穂
 12 60 04 御さま 御有様麦
 12 60 04 心つよう 心つよく保国頼穂
 12 60 04 御けしき 御さま保国頼穂
 12 60 04 なこりなく なこりなつ各麦阿ならふひと
 国
 12 60 04 人わろし ひとわろき国
 12 60 05 なかめれと なかめるを国 なかむめれと
 頼
 12 60 05 このたまはぬくとあるこのたまをぬく
 国
 12 60 05 おほさるゝにおほすに国
 12 60 06 ひさしう ひさしく頼
 12 60 06 えためらひえたらひ国 ためらひ麦阿穂
 12 60 06 御はゝ君の 御母君麦阿
 12 60 06 たまへりし 給し国
 12 60 07 きはにはきはに各きはめには保頼穂とち
 めには国
 12 60 07 侍りしを 侍りし国
 12 60 07 かきり かきりに頼
 12 60 07 ありて ナシ国
 12 60 08 すくなう すくなく保国頼
 12 60 08 とあることとあるも国

12 60 08 かゝることと かゝるも国 かゝる事阿
 12 60 08 かなしひも かなしみも各頼
 12 60 08 かくるへて かくれ国
 12 60 09 はか／＼しからねとはか／＼しからぬ(ね)
 と各
 12 60 09 おほやけもおほや(や)け去 本行や八つ力
 麦
 12 60 09 なりなりつる保なりいつるを国なりつゝ
 穂
 12 60 10 つけて ナシ保国頼穂
 12 60 10 人／＼人は国
 12 60 10 おほう おほく保国頼穂
 12 60 10 なり ナシ国
 12 60 11 くちおしかるも くちをしかる人も保国頼
 穂
 12 60 11 るいにふれて ナシ各 内にふれて穂
 12 60 11 かう かく保国頼穂
 12 60 11 おもひはおもひには保国麦阿頼穂
 12 60 12 世のおほえも 世のおほえにしも国
 12 60 12 つかさ ナシ各保国麦阿頼穂
 12 60 12 おもほえず おもひいれす保国頼穂(何とも
 イでおもほえず麦
 12 60 12 身つからの みつからの あさタのイ麦
 12 60 13 ありさまのみこそありさまのみこそ保みこ
 そ国
 12 60 13 たへかたくこひしかりけれこひしうたえか
 たかりけれ保頼穂 思かけにおほえて恋しう
 たへかたかりけれ国(こひしくたえかたく
 かりけれ頼

12 60 13 ことにてか事にてかは各保麦阿頼
 12 60 14 くもそら国阿
 12 60 14 にひいろに にひ色に各
 12 61 01 こすゑともをもこすゑとんをも保こすゑと
 も 国 木すへとも麦阿
 12 61 01 御たゝむかみに御た(たん)かみに各御た
 づかみに国麦阿
 12 61 02 このしたの 木の下の麦阿
 12 61 02 かすみのころも かすみの衣各麦
 12 61 02 きたる春かなきたる花かな国
 12 61 02 大将の君 大将君国阿
 12 61 04 思はさりけむ おもはさらなん麦阿
 12 61 04 きみきたれとは きみきたれとは保八き支
 トに(尔)ニ差ガナイ 保きみにたれとは国
 12 61 04 弁君 弁の君各保国頼穂
 12 61 05 かすみのころも かすみの衣各麦阿穂 かすみ
 のころも 頼
 12 61 05 花のちりけむ 花もちりけん阿
 12 61 05 御わさかくて 御わさ保頼穂
 12 61 06 いかめしう いかめしう 判読保 いかめし
 く 頼
 12 61 06 さる物にて さる事にて各麦阿
 12 61 07 す経なとも みすきやつなともをも保頼穂みす
 きやつ 御す行頼
 12 61 07 ふかき ふるき穂
 12 61 07 心はへを 心はへに国 御心はへを頼
 12 61 07 一条の宮にも 一条宮には国頼 一条宮 一条
 の宮頼 一条宮にも麦阿

12 61 08 月四月国
 12 61 08 うのはなは空は各保麦阿頼穂ナシ国
 12 61 08 そこはかとなうそこはかとなく各保国頼穂
 12 61 09 こすゑもこすゑの国
 12 61 09 おかしうをかしく保頼穂
 12 61 09 みえわたるをみえたるを保頼穂見えはたるを麦
 12 61 09 もの思やとはもの思ふとは国
 12 61 09 よろつのことによろつに保頼穂なに事に国
 12 61 10 つけてつけても国
 12 61 10 心ほそつこころほそく各心ほそくて保国頼穂
 12 61 10 わたりまつて保国頼穂はたり麦
 12 61 11 あおみいつるあをみ出るに阿
 12 61 11 みえわたり見えはたり麦
 12 61 11 こゝかしこのこゝかしこ保頼穂
 12 61 11 すなこすなこの保国頼穂
 12 61 11 うすきナシ国(うすき)かすかにイ(麦)うす穂
 12 61 11 ものゝかくれのナシ各ものゝかくれ保麦
 12 61 12 かにかたなとは保頼穂かたは国かたなとには麦阿かたなとは頼
 12 61 12 とこるえかほなりせんさいにとこるから国
 12 61 12 いてとめて保頼穂にとめて国
 12 61 12 たまひしもたまひしを保頼穂給も国

12 61 13 ひとむらすゝきもひとむらすゝきもの保
 12 61 14 そへむそはむ各保国麦阿頼穂そはへイ(ん)麦
 12 61 14 思やらるゝよりおもひやらるかく保頼穂思ひやられて国
 12 61 14 いよすいよすを国
 12 61 14 かけわたしてかけはたして麦
 12 62 01 にひいろのにひ色に各にひいろなる保頼穂
 12 62 01 き丁のき丁保頼穂ナシ国
 12 62 01 すきかけすきかけも麦阿
 12 62 01 すゝしけにみえてよきわらはのナシ国
 12 62 01 みえてて各みえ保頼穂ナシ阿
 12 62 01 わらははらはは麦
 12 62 02 こまやかにこまかに各あさやかに国こまやか穂
 12 62 02 つまつまみへたる国
 12 62 02 なとなとの保頼穂ナシ国
 12 62 02 ほのみえたるほのみえたるなと保頼穂ほのみたるなとも国
 12 62 02 おかしけれとナシ保国頼穂
 12 62 03 すのこにすのこに(つち)にイ(保)
 12 62 03 しとねさしいたりいとがるらかなるをましなりとてれいのナシ国
 12 62 04 がるらかなるかららかなる各保頼
 12 62 04 をまし御まし麦阿
 12 62 04 なりとなるとて麦
 12 62 04 宮す所宮すむ所保

12 62 04 このころこのころは国
 12 62 05 なやましとてなやましきとて各なやましうて保
 12 62 05 よりふしふし麦阿よりふし頼
 12 62 05 こたちともこたちとんの保頼穂とんのも頼穂(こたち)の国木たち麦阿
 12 62 06 思ことなけなるいと物思けなる国おもふことなけなる頼
 12 62 06 かしはきとかえてとのかしは木とかえての各かしはきの国
 12 62 06 ものよりけにわかやかなるいろしてよろつものよりけなるさまして国
 12 62 08 あへるあひたる国
 12 62 08 の給てのたまた保
 12 62 09 ならしのえたにならしのやとに各保頼穂
 12 62 09 はもりの神のはもりのかみも保頼はもりの神(も)頼
 12 62 09 ありきとありきととて国
 12 62 09 みすのとのみすのとの頼
 12 62 10 へたてあるへたゝれる国
 12 62 10 ほとこそほとそ穂
 12 62 10 なけしにナシ保国頼穂
 12 62 10 たまへりたまへる保国頼穂
 12 62 10 なよひすかたはたいとなよひすかたはと各なよひすかたはいと保国頼穂なよひすかたはいと頼
 12 62 11 いたういたく保頼穂
 12 62 11 たをやきけるたをやきたる各たをやかなり

ける国たをきける麦

12 62 11 御あへしらひ あいしらひ 各御いらへあゑし
らひ国 あへしらひ阿

12 62 12 少将の君こ少将のきみ保頼穂

12 62 12 人して人保頼穂しか麦して阿

12 62 13 まさすとま まさすとん保

12 62 13 やとのこすゑかやとのしつゑか各保国麦阿

頼穂

12 62 14 なむも国

12 62 14 あさつあさく保頼

12 62 14 思給へなりぬる おもふたまへなりぬる各保

穂

12 62 14 おほすにすこしほおゑみたまひぬ おほいて

国

12 62 14 すこしすこしつゑ

12 63 01 ほおゑみほゝえみ各保麦阿頼ほうゑみ

穂

12 63 01 宮す所宮すん所も保国頼穂(宮すん所宮す

所国頼穂(宮す所の麦阿

12 63 01 ぬさりいて給いさりいて給ぬる国

12 63 01 すれはなれば保国頼穂

12 63 01 やをらナシ国

12 63 02 世中をよを保頼穂よは国

12 63 02 思給へしつむ おもふたまへしつむ各思給し

つむに麦阿思給しつむ穂

12 63 02 月日のへきひの国

12 63 02 みたり心ちもみたる心地も穂

12 63 02 あやしうあやしく保国頼穂
12 63 02 ほれ／＼しうてほれ／＼しくて保国頼

穂

12 63 03 すくし侍るをすこし侍を保

12 63 03 かくかゝる国

12 63 03 たひ／＼たひ各保国頼穂

12 63 03 御とふらひの御とふらひも国

12 63 04 思給へおこしてなむとてけになやましけなる

御けはぬとなやましきけはひ国

12 63 04 思給へおこして おもふたまへをこして各保

頼 おもひ給へおこして穂

12 63 04 おもほしなけくは おほしなけくは国

12 63 05 さのみはさのみも保頼穂

12 63 05 よろつのことよろつの各

12 63 05 こそこそは各麦阿のみこそ国

12 63 05 はへめれ侍めれ各保国穂侍れ麦阿

12 63 06 なむとなんなど国頼穂

12 63 06 きこえ給きこゆえたまふ保

12 63 06 よりはより麦阿

12 63 06 心のおく／＼ころのおくふかけに保国頼

穂

12 63 07 みえ給へみえ給へは国

12 63 07 けにに保ナシ国

12 63 07 人わらはれ人わらへ保国頼穂

12 63 08 思も おもふ事国

12 63 08 いたういたく保頼穂

12 63 08 心とゝめて御こころとゝめて保頼
12 63 08 御ありさまも御ありさま保頼穂
12 63 08 きこえ給けりきこへたまけり保聞給けり

12 63 08 かたちそかたちは麦阿

12 63 08 いとえ保頼穂

12 63 09 まほにはまをには頼さをには穂

12 63 09 え物し給ましけれものしたまふましけれ保

頼穂おはすましけれ国

12 63 09 みくるしうみくるしく国頼穂

12 63 09 ほとにほとに頼

12 63 10 なたてなとて保頼

12 63 10 人をもひと事も国

12 63 10 さるましきにさるましき国さるましきに

頼

12 63 10 心をも心を国

12 63 10 さまあしやさまあしきや各ナシ保頼

穂

12 63 11 たゝナシ麦阿

12 63 11 こそこは阿

12 63 11 いひもてゆかむにはいひもていかんには

各いひもていけは保国頼穂(いけはゆけは

国穂)

12 63 11 やむことなかるへけれとやむことなかるへ

れと国

12 63 11 おもほす おほす保国頼穂

12 63 12 おもほしなすらへておもほしなすらへて

各おほしなすらへて国頼

12 63 12 もてなさせ おほしなさせ国

12 62 12 など頼

12 63 13 けしきはみてけしきはみ保国頼穂
12 63 13 きこえ給きこえたまふ頼
12 63 13 なおしすかたなをしすかたなと国
12 63 14 もの／＼しうもの／＼しく保頼穂などそい

とこと／＼しきまで国

12 63 14 そろゝかにそゝろゝかに各すこしそゝろゝか

にそ保すこしそゝろかに国そゝろかにそ麦

阿すこしそゝろかにそ頼穂

12 63 14 みえ給けるみえたまふける保頼

12 63 14 おとゝかむのきみ保頼穂おとゝのきみ

国

12 63 14 よろつのことよろつのことなと国

12 64 01 なつかしうなつかしく保頼

12 64 01 あい行つきあひきやつつき麦

12 64 01 ならひなきならひなに国ならひなきなき

頼

12 64 01 なりなりけり保国頼穂

12 64 02 をゝしうをゝしく保頼穂おしう国

12 64 02 はなやかにあさやかに国

12 64 02 きよらとぶとみえ給きよけとみえ給える

国きよしとぶと見え給穂

12 64 02 にほひそにほひにそ国

12 64 02 人にゝぬやと人人にゝぬやと保

12 64 03 おなしうはおなしくは保国頼穂

12 64 03 などと各

12 64 03 人ノナシ保頼穂も国

12 64 03 いふめりいふ国

12 64 03 いしやうくんか右將軍か各保麦阿頼穂右

大将のとこ本まゝの国

12 64 04 くさくま国

12 64 04 あおしあをう各

12 64 04 うちくちすさひてくちすさみて各麦阿ナシ

国くちすさひて麦阿しちくちすさみて頼穂

12 64 05 よのナシ国

12 64 05 ことなればナシ穂

12 64 05 さまノにさためなきよのあはれもさまノ

に保頼あはれもあはれなるも頼(あは

れもさまノに穂

12 64 05 ちかうちかく保国頼穂

12 64 05 とをうとほく保国頼穂とをり阿

12 64 05 心みたるこゝろみたる各保心をみたる

国

12 64 05 なりしなり保国頼穂

12 64 05 世中に世中国

12 64 06 くだれるもんだりなも各

12 64 06 へ／＼しきうい／＼しき国

12 64 06 あやしうあやしうなつかしう保国頼穂あや

しうあやしく国頼(なつかしうなつかしく

頼穂)

12 64 07 なさけをたてたるなさけはみたる国なさけ

をへたてたる阿

12 64 07 人にそ人なりにそ各人にてそ麦阿(人ぬに)

頼

12 64 07 給ければたまければ保

12 64 07 さしもさも国

12 64 07 女はう女官保国頼穂

12 64 08 としふるめきたるとしへたる国

12 64 08 ともさへも各国などさへ保頼穂

12 64 08 こひかなしひきこゆる恋しかなしときこゆ

各阿(こひかなしまぬなし保頼穂こひなきか

なしかる国恋しかなし聞ゆ麦

12 64 08 ましてまいて各

12 64 08 御あそひおほむあそひ保(御あそひ麦

12 64 09 おりことにもをりにも保国頼穂おりことに

も麦折ことに阿

12 64 09 おほしいておもほしいて保頼穂

12 64 09 なむナシ保阿頼穂

12 64 09 しのはせ給けるナシ保国頼穂

12 64 09 あはれあはれかり国

12 64 09 ゑもんのかみ右衛門のかみ各ゑもむのかみ

の保頼穂衛門督国麦阿(衛門督の頼

12 64 10 つけてもいはぬ人なしもたえず国

は保頼(六条のおとゝは国

12 64 11 ことごとおほく国

12 64 11 月日に月日各

12 64 11 おほかりナシ国阿

12 64 11 このかの穂

12 64 11 わか君をわか君は国

12 64 11 御心おほん心保

12 64 12 みなしたまへみたまへ保頼穂

12 64 12 人のナシ阿

12 64 12 ことなれば事なれば穂

12 64 12 いとかひなし秋つかたになればナシ各

12 64 12 いとナシ国

12 64 13 このきみはあざりなとこの君はあざりな

としたまふさまのいふよしもなうをかしけな

れは人めのみにあらずまことにいとかなし

とおもひきこえたまひてつねにいたきもてあ

そひきこえ給ふ各保頼穂この君このきみは
保頼穂よしもなうよしもなう(各)よ

なく保頼穂いとナシ保頼穂たまひてた

まふ保穂はひいさりなとし給国この君は
ひるさりなとし給麦阿